産業戦略部資料　1

令和６年第１回定例会

防災環境産業委員会資料

頁

１　最近の経済・雇用情勢について ・・・

1　最近の経済・雇用情勢について

（1）「月例経済報告」における基調判断（令和６年２月 21 日：内閣府）

・　景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

・　先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和６年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

（2）茨城県金融経済概況（令和６年３月７日：日本銀行水戸事務所）

・　県内景気は、ペースを鈍化させつつも、緩やかな回復を続けている。

・　主要支出項目等をみると、個人消費は、ペースを鈍化させつつも、緩やかな増加を続けている。住宅投資は弱い動きとなっている。公共投資は弱含んでいる。設備投資は、12 月企業短期経済観測調査結果（茨城県）では、2023 年度は前年度をやや下回る計画となっている。生産は、海外経済減速の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとで、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。

・　なお、金融面をみると、預金、貸出ともに増加した。貸出約定平均金利は上昇した。

【個人消費】 1月の百貨店･スーパー販売額は、10か月振りに前年を下回った。2月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を下回った。家電販売は、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識などから弱含んでいる。

【生　　産】 12月の鉱工業生産指数(原指数)は、5か月連続で前年を下回った。海外経済減速の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとで、横ばい圏内の動きとなっている。

（3）雇用情勢（令和６年３月１日：総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」）

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
完全失業率（%）（季節調整値）		2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4
完全失業者数（万人）（原数値）		179	183	186	182	175	169	156	163
有効求人倍率（季節調整値）	全国	1.31	1.30	1.30	1.29	1.29	1.27	1.27	1.27
	茨城県	1.40	1.39	1.38	1.39	1.39	1.36	1.34	1.31

※完全失業率と有効求人倍率の季節調整値は、毎年１月分結果公表時に、過去に遡って改訂

２　令和５年度　県出資法人等経営評価結果報告の概要について

【県全体】

評価区分	法人数（構成比）
概ね良好	２４（75%）
改善の余地あり	４（13%）
改善措置が必要	３（９%）
大いに改善を要する又は緊急の改善措置が必要	１（３%）
合　　計	３２

【産業戦略部】

評価区分	法人数（構成比）	出　資　法　人　名
概ね良好	６（100%）	・茨城県信用保証協会 ・（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構 ・(株)ひたちなかテクノセンター ・(株)つくば研究支援センター ・(公財)茨城カウンセリングセンター ・(一財)茨城県科学技術振興財団
改善の余地あり	０（０%）	
改善措置が必要	０（０%）	
大いに改善を要する又は緊急の改善措置が必要	０（０%）	
合　　計	６	

産業戦略部資料　２

令和６年第１回定例会 防災環境産業委員会資料

１　令和５年度補正予算関係等（付託案件）及び前回の委員会以降の主な事務事業の概要

頁

（１）権利の放棄について＜付託案件：第 106 号議案＞【産業政策課】 …… ２
（２）訴えの提起について＜付託案件：第 104 号議案＞【中小企業課】 …… ３
（３）産業技術短期大学校（IT 短大）の一般入試における試験問題の不備及び情報漏洩について【産業人材育成課】 …… ４
（４）茨城ベンチャーフレンドリー宣言について【技術革新課】 …… ６

２　令和６年度当初予算＜第１号議案 令和６年度茨城県一般会計予算＞関係及び条例案の概要

頁

（１）ものづくり海外展開推進事業【中小企業課】 …… ７
（２）外国人材活躍促進事業【労働政策課】 …… ９
（３）茨城県地方就職学生支援事業【労働政策課】 …… 11
（４）ＩＴ短大機能強化事業【産業人材育成課】 …… 13
（５）茨城県県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例の一部改正＜付託案件：第 54 号議案＞【産業人材育成課】 …… 15
（６）茨城県立産業技術短期大学校の設置及び管理に関する条例の一部改正＜付託案件：第 55 号議案＞【産業人材育成課】 …… 16
（７）茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の一部改正＜付託案件：第 56 号議案＞【技術革新課】 …… 18
（８）つくば創業プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正＜付託案件：第 57 号議案＞【技術革新課】 …… 20
（９）茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例の一部改正＜付託案件：第 58 号議案＞【技術革新課】 …… 21
(10) アンモニアサプライチェーン構築実行可能性調査事業【科学技術振興課】 23
(11) いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例の一部改正＜付託案件：第 59 号議案＞【科学技術振興課】 …… 24
(12) 日本製鉄鹿島地区の高炉１基休止への対応について【労働政策課・技術革新課】 25

（参考）条例改正議案・新旧対照表 …… 26

令和６年３月１５日
産　業　戦　略　部

様式３

提出議案（条例は除く）の概要

産業戦略部　産業政策課

議案の名称	権利の放棄について
１　現況・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、売上が急減する県内の中小企業者に対して、事業継続等を支援するため、中小企業事業継続応援貸付金事業を実施（令和２年５月11日から令和３年９月30日まで）。 当該貸付金のうち、債務者が破産により免責され回収不能な債権が発生している。
２　必要性・ねらい	法令に則った適正な債権管理に努めるとともに、徴収活動の強化や時効期間の漫然経過防止、早期の債権処理といった対応をとることにより、未収債権額の縮減を図る。
３　内　　容	債務者が破産により免責され回収不能となった債権について、「県の債権（私債権）に係る権利の放棄の基準」により権利の放棄を行う。 債　　権：中小企業事業継続応援貸付金に係る債権　計７件 債 務 者：[redacted] 外６者 放 棄 額：1,130万円及びこれに係る遅延損害金 放棄理由：破産法第253条第１項の規定に基づき、債務者が当該債権につきその責任を免かれたことから回収不能となったため。
４　参考事項	○中小企業事業継続応援貸付金の概要 内　　容：公的融資制度や民間金融機関から融資を受けられなかった中小企業者に対して、事業継続に必要な資金を無利子・無担保で貸付 貸付限度額：200万円 貸 付 期 間：10年以内（据置期間５年以内） 貸 付 実 績：651件　11億7,750万円（R2.5.11～R3.9.30） ○県の債権(私債権)に係る権利の放棄の基準(抜粋・R2.10策定) 主たる債務者及びその保証人又は連帯保証人等全ての債務者について、その状況が次のいずれかに該当するもの。 (4) 破産法（平成16年法律第75号）第253条第１項、会社更生法（平成14年法律第154号）第204条第１項その他の法令の規定により債務者が当該債権につきその責任を免かれたこと。

提出議案（条例は除く）の概要

産業戦略部　中小企業課

議案の名称	訴えの提起について
1　現況・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県が行った飲食店への営業時間短縮要請に協力した事業者に協力金を支給し、対策の実効性を高めるとともに、事業者の負担軽減を図ってきた。 この給付金を不正に受給したことが発覚した申請者に対し、支給決定の取消し及び返還命令を行い、文書・訪問により督促や催告を行っているが、任意の履行が期待できない者がいる。
2　必要性・ねらい	地方公共団体の長は、督促をした後相当の期間を経過してもなお履行されない債権については、地方自治法施行令第 171 条の２の規定に基づき、訴訟手続により履行を請求することが必要とされている。 これまでの督促では回収困難であったため、裁判所への訴えの提起をすることにより、公平かつ適切な債権回収を進める。
3　内　容	給付金の返還義務者（債務者）に対しては、返還金の支払について督促及び催告を行っているが、交渉過程から今後の返還が見込めない債務者を対象に、返還金の支払いを求める訴えを提起する。 提訴の相手方 新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮要請協力金の返還義務者（債務者）　１者（法人）及びその代表 債権額：２，７９０千円
4　参考事項	○不正受給等の返還状況（3/1 時点） ※未返還案件の対応状況 ・刑事裁判中　１者 ・返還中　　２者

	返還請求	返還済	未返還
件数	65件（36者）	52件（32者）	13件（4者）
金額	60,864千円	51,070千円	9,794千円

様式２

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

産業戦略部　産業人材育成課

項　　目	産業技術短期大学校（IT短大）の一般入試における試験問題の不備及び情報漏洩について

１　事案の概要

（１）一般入試における試験問題の不備について

ア　概要

令和５年１２月１９日に実施した産業技術短期大学校の一般試験（前期）の「数学Ⅰ・Ⅱ」において、設問内容に誤りがある問題を出題する不適切な事案が発生した。試験時間中に受験生が出題ミスに気付き、試験監督者に対して指摘があったことで発覚した。

《参考》産業技術短期大学校の入学者選考試験の概要

種別	試験日	合格発表日	受験者	試験科目
学校長推薦	10/17	10/24	88	① 数学Ⅰまたは適性検査、②面接、③出願書類
自己推薦	11/14	11/21	33	① 数学Ⅰ、②面接、③出願書類
事業主推薦	12/19	12/26	2	① 適性検査、②面接、③出願書類
一般試験（前期）	12/19	12/26	31	① 数学Ⅰ・Ⅱ、②コミュニケーション英語Ⅰ
一般試験（中期）	2/7	2/14	6	
一般試験（後期）	3/15	3/19		

※入学定員 60 名

※合格者については、合否判定会議において、試験科目の点数を踏まえ判定する。

イ　発生の原因

試験問題の事前確認において、チェック漏れがあった。

ウ　対応

・当該設問について全員正解とし、試験中に受験者全員に伝えた。
・なお、全員正解にすることにより、合否に影響がないことを確認している。
・学校内での再発防止会議の開催やコンプライアンス研修、試験問題の事前チェック体制の強化、実施マニュアルを作成・運用により再発防止を図る。

（２）情報漏洩について

ア　概要

・令和６年２月６日、産業技術短期大学校職員がパソコン実習室の職員専用 PC にロックをかけないまま離席した際に、在学生の一人が、当該 PC を無断で操作して職員専用のチャット（※）を閲覧する事案が判明した。

・なお、当該チャットにおいて、職員の不適切な発言（学生の個性を揶揄する発言）を確認している。

・また、不適切な発言の内容や、在学生が無断で情報を閲覧した状況の詳細については、個々の学生が特定される恐れがあることから、公表していない。

（※）職員間における学校内の情報共有の場として設置されているもので、学生の氏名等の情報も含まれる。

・さらに、上記情報漏洩事案の発生を踏まえ、再発防止に向け、短大校の職員・学生への聞き取り調査及び情報管理状況の点検を進めたところ、２月２６日と２月２９日の学生への聞き取りにおいて、以下の情報漏洩事案を確認した。

①職員が（会計年度職員）が「学生情報データファイル」（※）を在学生が閲覧可能な共有フォルダ内に誤って保存し、在学生数人が閲覧したもの。

（※）氏名、顔写真、出身高校、居住地（市町村まで）、就職先、資格取得情報が記載されたデータベース

②職員が、学生の新型コロナ感染症流行時における体温データ、履歴書、資格試験の合否・得点、病院の領収書等の個人情報について、他の学生にも閲覧できる状態にしたもの。

イ　対応

（情報が漏洩した学生への謝罪）

・学生情報データファイルや体温の一覧表に記載された学生等へ謝罪するとともに、個々の求めに応じて対面・電話により状況の説明及び謝罪する。

（再発防止の徹底）

・職員が業務上取り扱う個人情報の管理状況を総点検し、適正管理を徹底する。

・不適切な発言があった職員に対し、個性尊重の意識を徹底する。

・在学生に対し、第三者の情報を無断で閲覧することのないよう指導を徹底する。

（職員への対応）

・対象職員を厳重注意するとともに、処分の判断について総務部と協議している。

様式２

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

産業戦略部　技術革新課

項　　目	茨城ベンチャーフレンドリー宣言について

１　目　的

ベンチャー企業の成長を地域で加速させるために、官民でベンチャー企業の製品やサービスの市場導入を促進する環境を構築する。

２　事業概要

（１）「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」の発出について

○官民一体となって、ベンチャー企業がスピード感を持って成長できる環境づくりを構築するため、（一社）茨城県経営者協会とともに「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」を発出

○今後、県においては、県内ベンチャー企業に特化した公共調達を促進し、経営者協会においては、ベンチャー企業と会員企業の交流会等を実施していく。

（参考１）「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」発出式の概要

日　時	令和６年２月２９日（木）
場　所	県庁１１階アトリウム
出席者	茨　城　県）　横山副知事、大竹産業戦略部長 経営者協会）　笹島会長、加藤総務企画担当部長
宣　言 内　容	○官民一体となり、ベンチャー企業を歓迎し、成長を加速化させる。 ○イノベーションの原動力として共に成長していく環境構築を目指す。

（２）県内ベンチャーに特化した公共調達の促進について

主　旨	優れた製品・サービスを持つ県内ベンチャー企業を県で認定し、随意契約を可能とすることで、普及促進を図る。 〔根拠法令〕地方自治法施行令第１６７条の２第１項第４号
取　組	○令和６年３～４月　ベンチャー企業の公募実施 ○同年５～６月　　審査及び認定 ○同年７月以降 ・県イベントやＨＰにおいて、認定事業者の製品・サービス等をＰＲ ・調達に向け、ベンチャー企業と県庁関係課とのマッチング等を実施

（参考２）根拠法令　地方自治法施行令　第１６７条の２第１項第４号

第１６７条の２第１項（随意契約）

地方自治法第２３４条第２項の規定により随意契約によることができる場合は、次に掲げる場合とする。

（中略）

４号　新商品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者として総務省令で定めるところにより普通地方公共団体の長の認定を受けた者が新商品として生産する物品を当該認定を受けた者から普通地方公共団体の規則で定める手続により買い入れ若しくは借り入れる契約又は新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る者として総務省令で定めるところにより普通地方公共団体の長の認定を受けた者から普通地方公共団体の規則で定める手続により新役務の提供を受ける契約をするとき。

主要事業等の概要（案）

産業戦略部　中小企業課

事業名又は議案の名　称	ものづくり海外展開推進事業費**【新規】**
１　予 算 額	１０３，６４２千円
２　現況・課題	国内市場が縮小していく中、ものづくり企業は積極的に海外販路を開拓することが求められるが、多くの企業が海外展開のノウハウを持ち合わせておらず、海外市場に通用しうる高い技術力や魅力的な製品があっても海外展開に取り組めずにいる。
３　必要性・ねらい	競争力のある製品や高い技術力を有する県内の「ものづくり企業」に対して、海外展示会出展支援、専門家による伴走支援を行い、海外展開への挑戦を後押しする。
４　事業の内容 （事業フロー、年次別・全体計画等）	【対象】 初めて海外展開（販路開拓）に挑戦する県内ものづくり中小企業 【事業メニュー】 １ 海外展示会への出展支援 (1)アジア・欧州地域の販路開拓を目指し、大規模展示会に県ブースを設置（タイ・ドイツ） (2)海外展開に成功している企業等を講師としたセミナーを開催 (3)展示会出展の事前準備として海外向け販促動画、リーフレット等の販促ツールの作成を支援 ２ 海外支援体制の強化 (1)海外経験が豊富な専門家（商社OB等）を配置して企業の掘り起こし、戦略策定等の伴走支援を実施 ※配置想定箇所：中小企業グローバル推進機構 (2)海外商社・企業向け営業人材の確保、製品紹介資料の作成を支援
５　参考事項 （過去の実績、他県の状況、関連データ等）	

ものづくり海外展開推進事業（新規）

【R6当初予算額　104百万円】

産業戦略部中小企業課経営支援室（029-301-3560）

競争力のある製品や高い技術力を有する県内の「ものづくり企業」に対して、海外展示会出展支援、専門家による伴走支援を行い、海外展開への挑戦を後押しします。

【対象】
初めての海外展開（販路開拓）に挑戦する県内ものづくり中小企業

【事業メニュー】
１　海外展示会への出展支援（82百万円）
(1)アジア・欧州地域の販路開拓を目指し、大規模展示会に県ブースを設置（タイ・ドイツ）
(2)海外展開に成功している企業等を講師としたセミナーを開催
(3)展示会出展の事前準備として海外向け販促動画、リーフレット等の販促ツールの作成を支援

２　海外支援体制の強化（22百万円）
(1)海外経験が豊富な専門家（商社OB等）を配置して企業の掘り起こし、戦略策定等の伴走支援を実施
(2)海外商社・企業向け営業人材の確保、製品紹介資料の作成を支援



▲アジア最大級の金属加工展示会「METALEX」



▲経験豊富な専門家が海外バイヤーとの商談をサポート

様式３

主要事業等の概要（案）

産業戦略部　労働政策課

事業名又は議案の名　称	外国人材活躍促進事業
１　予 算 額	１２５，０５２千円
２　現況・課題	本県では、「茨城県外国人材支援センター」の設置や海外の地方政府等との関係強化を進め、外国人材の活用促進を図ってきたところ。 急激な人口減少や国際的な人材獲得競争の激化が見込まれる中、更なる外国人材の確保を図る必要がある。
３　必要性・ねらい	継続的かつ安定的に外国人材を確保・育成する体制を構築し、外国人材が中長期的に本県で活躍できる環境を整備することで、県内企業の人手不足の解消及び県内産業の活力維持を目指す。
４　事業の内容 （事業フロー、年次別・全体計画等）	**１ 外国人材の確保・育成** **(1) 外国人留学生の県内就職を促進するコンソーシアムの構築** ・大学・県内企業と連携し、留学生向けの企業視察ツアーやインターン等、就職関連イベントの一括化・定例化 **(2) 海外教育機関等と連携した日本語講座の運営（インド）** ・海外の地方政府や大学等の教育機関と協力覚書の締結 ・現地で日本語講座を運営し、受講生に対し、日本語教育をはじめ、県内企業の情報提供・PR を行い、就職まで一気通貫したスキームを構築 **(3) 覚書締結済機関と連携した人材育成プログラムの展開** ・製造業において、技能実習から特定技能１号・２号へのステップアップを支援する人材育成プログラムを実施 **(4) 県立高等学校に通う外国籍生徒の県内就職支援** **２ 選ばれる茨城県づくり** **(1) 日本語ｅ-ラーニングシステムの提供** ・県内就職希望の国内留学生や海外大学生へ対象者拡大 ・資格取得や就労機会拡大のための来県後の日本語学習支援 **(2)「“外国人版”いばらき幸福度指標」（仮称）の策定** ・外国人にとっての「働きやすさ・住みやすさ・教育」について、客観的な指標で定量的に把握する指標を策定
５　参考事項 （過去の実績、他県の状況、関連データ等）	○茨城県外国人材支援センター（平成 31 年４月開設）の概要 ・専門アドバイザーを配置し、外国人材と県内企業の就職マッチング、県内企業の外国人材受入れ体制の整備等を支援 ○海外の地方政府等との協力覚書締結の状況

締結先	締結日
ベトナム労働･傷病兵･社会問題省 ベトナム・ロンアン省	R1.11.26
インドネシア教育大学	R2.11.26
新モンゴル学園	R4.2.9

外国人材活躍促進事業

【R6当初予算額　125百万円】
（R5当初予算額　110百万円）

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室（029-301-3645）

県内産業を支える外国人材を確保するため、「茨城県外国人材支援センター」において、外国人留学生の県内就職支援や海外教育機関と連携した日本語講座の運営等に取り組みます。

1　外国人材の確保・育成

(1) 外国人留学生の県内就職を促進するコンソーシアムの構築

・大学・県内企業と連携し、留学生向けの企業視察ツアーやインターン等、就職関連イベントの一括化・定例化

(2) 海外教育機関等と連携した日本語講座の運営（インド）

・海外の地方政府や大学等の教育機関と協力覚書の締結

・現地で日本語講座を運営し、受講生に対し、日本語教育をはじめ、県内企業の情報提供・PRを行い、就職まで一気通貫したスキームを構築

(3) 覚書締結済機関と連携した人材育成プログラムの展開

・介護分野で実施している人材育成プログラムを製造業にも拡大
（技能実習から特定技能１号・２号へのステップアップ）

(4) 県立高等学校に通う外国籍生徒の県内就職支援

2　選ばれる茨城県づくり

(1) 日本語ｅ-ラーニングシステムの提供

・県内就職希望の国内留学生や海外大学生へ対象者拡大

・資格取得や就労機会拡大のための来県後の日本語学習支援

(2) 「“外国人版”いばらき幸福度指標」（仮称）の策定

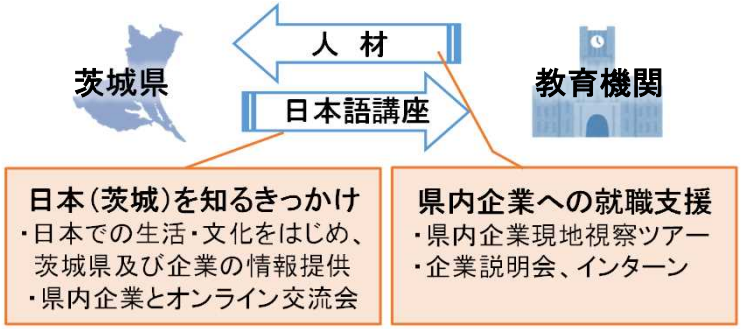
・働きやすさ・住みやすさ・教育などの指標から、他県や諸外国との比較

・日本や茨城の強み・弱みを調査把握し、外国人関連施策への反映

【外国人留学生の県内就職支援】



【海外教育機関と連携した日本語講座の運営】



様式３

主要事業等の概要（案）

産業戦略部　労働政策課

<table>
<tr><td>事業名又は議案の
名　称</td><td>茨城県地方就職学生支援事業【新規】</td></tr>
<tr><td>１　予 算 額</td><td>２，０１３千円</td></tr>
<tr><td>２　現況・課題</td><td>本県は企業立地が進む一方で、少子高齢化による労働力人口の減少、大都市圏に近接していることによる若年者の流出、求職者の減少など、企業の労働力の確保が年々厳しさを増しており、県外進学者の着実な県内就職の促進が必要となっている。</td></tr>
<tr><td>３　必要性・ねらい</td><td>東京圏に進学した学生のＵターン就職を推進するため、国のデジタル田園都市国家構想交付金（移住・企業・就業型）を活用し、県内企業に就職活動を行い、企業の内定を得た学生に対し、就職活動に要した交通費の補助を行う市町村を支援する。</td></tr>
<tr><td>４　事業の内容
（事業フロー，
年次別・全体計画等）</td><td>〇事業概要
東京圏の大学生が茨城県の企業に就職活動を行い、企業の内定を得て、県内市町村に移住する見込みの場合、就職活動に要した交通費用の 1/2 を補助する。
〇実施主体
以下の２つの取組をいずれも実施し、学生の就職活動に要する交通費補助を行う市町村
・わくわく茨城生活実現事業（茨城県移住支援金）を実施していること。
・一定の要件（域内に一定期間居住、特定の業種に一定期間就業など）を満たす者の奨学金の返還を支援する取組を実施していること。
〇負担割合：国 1/2、県 1/4、市町村 1/4
〇補助金額：最大 4,260 円／回・人
〇補助回数：一人１回</td></tr>
<tr><td>５　参考事項
（過去の実績、
他県の状況、
関連データ等）</td><td>（１）県内高卒者の他県進学率　　出典：学校基本調査
<table>
<tr><td>年度</td><td>2020 年卒</td><td>2021 年卒</td><td>2022 年卒</td><td>2023 年卒</td></tr>
<tr><td>県外
進学率</td><td>78.1%</td><td>78.1%</td><td>79.7%</td><td>80.3%</td></tr>
</table>
（２）県外進学者が「地元企業への就職活動においてもっとも障害に感じていること」　　出典：マイナビ調査
<table>
<tr><td></td><td>2021 年卒</td><td>2022 年卒</td><td>2023 年卒</td><td>2024 年卒</td></tr>
<tr><td>1
位</td><td><u>地元までの
交通費
(26.0%)</u></td><td>地元までの
距離・時間
(19.1%)</td><td><u>地元までの
交通費
(17.5%)</u></td><td><u>地元までの
交通費
(18.7%)</u></td></tr>
</table>
※（）内の数字は回答者が回答全体に占める割合。</td></tr>
</table>

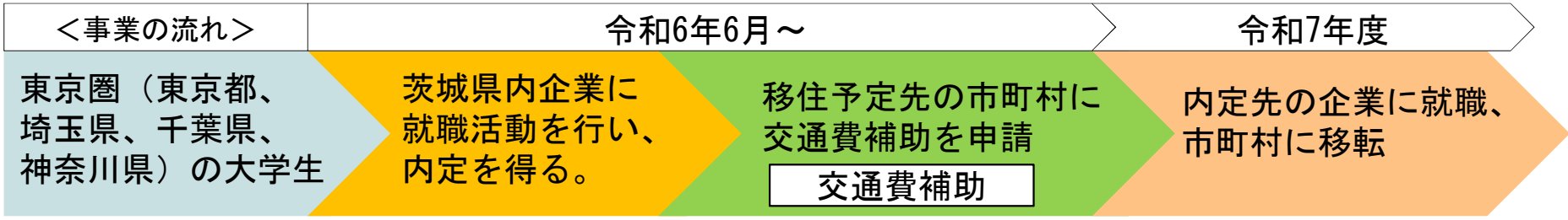
茨城県地方就職学生支援事業（新規）

【R6当初予算額　2百万円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室（029-301-3645）

東京圏に進学した学生のUターン就職を推進するため、デジタル田園都市国家構想交付金（移住・企業・就業型）の「地方就職学生支援事業」を活用し、県内企業に就職活動を行った学生に対し、交通費の補助を行う市町村を支援します。

○事業概要
　東京圏の大学生が茨城県の企業に就職活動を行い、企業の内定を得て、県内市町村に移住する見込みの場合、就職活動に要した交通費用の1/2を補助する。
○実施主体
　以下の２つの取組をいずれも実施し、学生の就職活動に要する交通費補助を行う市町村
　・わくわく茨城生活実現事業（茨城県移住支援金）を実施していること。
　・一定の要件（域内に一定期間居住、特定の業種に一定期間就業など）を満たす者の奨学金の返還を支援する取組を実施していること。
○負担割合　　国1/2、県1/4、市町村1/4
○補助金額　　最大4,260円／回・人
○補助回数　　一人１回



主要事業等の概要（案）

産業戦略部　産業人材育成課

<table>
<tr><td>事業名又は議案の
名　称</td><td>ＩＴ短大機能強化事業</td></tr>
<tr><td>１　予 算 額</td><td>９９７，０４６千円</td></tr>
<tr><td>２　現況・課題</td><td>・県立産業技術短期大学校（ＩＴ短大）は、２００５年（平成１７）年の開校以来、即戦力となるＩＴ人材を育成し、県内企業の人材確保に寄与している。
・近年の急速なデジタル化の進展により、ＩＴ人材の需要が増加し、県内企業でも「質」と「量」の両面から人材不足の声が上がっている。
・令和３年度の県議会「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」において、高度デジタル人材の育成に向けた教育の充実等の提言がなされるなど、ＩＴ人材の育成強化が課題となっている。
・そのため、外部有識者による検討会を設置し、ＩＴ短大の大学校化（応用課程の設置）及び定員増について検討を行ってきたところ。</td></tr>
<tr><td>３　必要性・ねらい</td><td>・応用課程の設置及び専門課程の定員増により、全体の定員が１２０名から３２０名に増加するため、現在地に新棟を増築し、「質」と「量」の両面からデジタル人材の育成を強化する。</td></tr>
<tr><td>４　事業の内容
（事業フロー、年次別・全体計画等）</td><td>〇新棟の概要
・延床面積：5,304.94 ㎡
・構　　造：鉄骨造３階建
・主な施設：教室、情報処理実習室、実験室、ゼミ室　等
・費 用 等：
<table>
<tr><td></td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td></tr>
<tr><td>スケジュール</td><td>調査設計</td><td colspan="2">建設工事</td></tr>
<tr><td>建設費等（百万円）</td><td>154</td><td>997</td><td>1,503</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>５　参考事項
（過去の実績、他県の状況、関連データ等）</td><td>〇大学校の概要
・２０２６年（令和８年）４月開校
・名称：情報テクノロジー大学校（仮称）
・訓練科及び定員：
<table>
<tr><td></td><td>訓練科</td><td>収容定員</td></tr>
<tr><td>専門課程（2 年間）</td><td>2 科（5 コース）</td><td>200 名</td></tr>
<tr><td>応用課程（2 年間）</td><td>1 科</td><td>120 名</td></tr>
</table>
〇ＩＴ短大の機能強化に関する検討会
・委員：経営者協会、ＩＴ企業、大学教授、県立高校校長等６名</td></tr>
</table>

ＩＴ短大機能強化事業

【Ｒ6当初予算額　997百万円】
（Ｒ5当初予算額　154百万円）

産業戦略部産業人材育成課人材育成Ｇ（029-301-3653）

県立産業技術短期大学校（ＩＴ短大）の大学校化により、「質」と「量」の両面からデジタル人材の育成を強化します。

【大学校の概要】

〇2026年（令和８年）４月開校（専門課程２年、応用課程２年）
〇学校名：情報テクノロジー大学校（仮称）
〇訓練科：専門課程２科〔収容定員：120名→200名（80名増員）〕
　　応用課程１科〔収容定員：120名新設〕
　　※専門課程からの内部推薦入試のほか、一般入試等により選抜

専門課程	情報システム科	情報システムコース	
		ITエンジニアコース	新設
	情報処理科	情報管理コース	
		情報セキュリティコース	
		情報サービスコース	新設
応用課程	応用情報専攻科		新設

大学校新棟イメージ図



【事業内容】

〇新棟建設の実施：
　定員増に伴い、不足する教室・実習室等を整備

	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	調査設計	建設工事	
建設費等	154百万円	997百万円	1,503百万円

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部産業人材育成課

条例の名称	茨城県県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例の一部改正（使用料等（授業料）の改定）
1　制定（改正）の理由・根拠	県立施設の使用料等については、原則３～４年毎に見直しを検討しているが、令和６年度が見直し時期にあたることから、改定作業を行ったところ、電気料金の高騰などを踏まえ、今回授業料の改定を行おうとするもの。 なお、授業料の見直しは、平成 19 年以来初めてとなる。
2　制定（改正）の目的	使用料の見直し年度にあたることから､電気料金等の高騰を踏まえ、使用料等を改定し、受益者負担の適正化を図る。
3　背景・必要性	電気料金､施設等の維持管理に要する経費が増加していることから、使用料等を改定し、受益者負担の適正化を図る。
4　内　容	使用料の改定内容 授業料（年額）118,800 円を 139,600 円に改定 （引上げ額 20,800 円）
5　効果・影響	・増収見込み額：7,592 千円
6　施行日	・2025（Ｒ７）年４月１日

7　参考事項

①学生数及び授業料収入の推移

(単位：人、千円)

	学生数	授業料収入	歳　出	うち光熱水費
H30	289	30,709	133,947	13,091
R1	271	28,106	129,113	12,079
R2	238	25,066	124,084	11,566
R3	241	24,750	129,890	11,998
R4	239	21,849	133,947	20,383

注）学生数については、各年度の４月１日時点で記載

②減免等の状況

（単位：人、千円）

年度	減免人数	減免額
R2	43	2,098
R3	53	2,890
R4	72	3,880

※住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して減免している。

※茨城県県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例

第８条　知事は，経済的理由その他の規則で定める理由により授業料等の納付が困難であると認められる者について，授業料等の全部若しくは一部を免除し，又はその徴収を猶予することができる。

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部産業人材育成課

条例の名称	茨城県立産業技術短期大学校の設置及び管理に関する条例の一部改正（使用料等（授業料・受講料）の改定）
1　制定（改正）の理由・根拠	県立施設の使用料等については、原則３～４年毎に見直しを検討しているが、令和６年度が見直し時期にあたることから、改定作業を行ったところ、電気料金の高騰などを踏まえ、今回授業料及び在職者訓練の受講料の改定を行おうとするもの。 なお、授業料については、平成 17 年の開校以来初めての改定、また、受講料については、令和４年度の事業開始以来、初めての改定となる。
2　制定（改正）の目的	使用料の見直し年度にあたることから、電気料金等の高騰を踏まえ、使用料等を改定し、受益者負担の適正化を図る。
3　背景・必要性	電気料金、施設等の維持管理に要する経費が増加していることから、使用料等を改定し、受益者負担の適正化を図る。
4　内　容	使用料等の改定内容 （単位：円）

区分	単位	改定前	改定後	引上げ額
授業料	年額	390,000	392,800	2,800
受講料	１講座	10,000	11,000	1,000

5　効果・影響	増収見込み額 ・授業料：336 千円 ・受講料：　50 千円
6　施行日	・授業料　2025（Ｒ７）年　４月１日 ・受講料　2024（Ｒ６）年 10 月１日

7　参考事項

①学生者数及び授業料、歳出の推移

授業料　　(単位：人、千円)

	学生数	授業料収入	歳　出	うち光熱水費
H30	77	27,592	85,622	3,560
R1	97	32,175	67,243	3,137
R2	102	32,007	80,440	3,059
R3	100	32,770	82,939	3,064
R4	111	35,999	85,622	5,317

注）学生数については、各年度の４月１日時点で記載

受講料　　(単位：人、千円)

	受講者数	受講料収入	歳出	うち光熱水費
R4	31	310	41,020	0

②減免等の状況

（単位：人、千円）

年度	人数	減免額
R2	38	6,630
R3	33	4,961
R4	34	5,611

※住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して減免している。

※茨城県立産業技術短期大学校の設置及び管理に関する条例（抜粋）

第８条　知事は，経済的理由その他の規則で定める理由により授業料等の納付が困難であると認められる者について，授業料等の全部若しくは一部を免除し，又はその徴収を猶予することができる。

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部 技術振興局 技術革新課

<table>
<tr><td>条例の名称</td><td>茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の一部改正（使用料等の改定）</td></tr>
<tr><td>1　制定（改正）の理由・根拠</td><td>茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料の改定のため、所要の改正を行うもの。</td></tr>
<tr><td>2　制定（改正）の目的</td><td>使用料等の見直し年度にあたることから、電気料金等の高騰を踏まえ、使用料及び手数料を改定する。また、新規開放する機器の使用料及び手数料に係る項目を追加・更新するとともに、老朽化により使用停止とする機器等の使用料及び手数料に係る項目を削除する。</td></tr>
<tr><td>3　背景・必要性</td><td>電気料金等の高騰により必要経費が増加しているため、使用料及び手数料を改定し、受益者負担の適正化を図る必要がある。また、新規開放する機器係る項目を追加・更新するとともに、老朽化により使用停止とする機器等に係る項目を削除する必要がある。</td></tr>
<tr><td>4　内　容</td><td>（1）　項目の追加（８項目）
新規導入した機器の開放に伴い、当該機器の使用料及び手数料に係る項目を追加する。
【主な項目】
<table>
<tr><th>名称</th><th>機器等の概要</th><th colspan="2">新単価※</th></tr>
<tr><td rowspan="2">原子吸光分析装置</td><td rowspan="2">試料に含まれる特定の元素の存在や濃度を分析する</td><td>使用料</td><td>4,400 円
（１時間）</td></tr>
<tr><td>手数料</td><td>8,030 円
（１試料・１成分）</td></tr>
</table>
（2）　項目の更新（262 項目）
電気料金等の高騰を踏まえ、使用料及び手数料を改定する。
【主な項目】
○使用料
<table>
<tr><th>名称</th><th>機器の概要</th><th>新単価※</th></tr>
<tr><td>インストロン万能試験機(15 トン)</td><td>材料の引張強度、ひずみ等の機械的特性を測定する機器</td><td>1,650 円
（１時間）</td></tr>
</table>
○手数料
<table>
<tr><th>名称</th><th>試験の概要</th><th>新単価※</th></tr>
<tr><td>電子顕微鏡によるもの</td><td>試料の拡大観察を行う</td><td>8,690 円
(1 試験・1 箇所
（写真1枚付))</td></tr>
</table>
（3）　項目の削除（24 項目）
老朽化により使用停止とする機器等の使用料及び手数料に係る項目を削除する。
【主な項目】
○使用料
<table>
<tr><th>名称</th><th>機器の概要</th><th>新単価※</th></tr>
<tr><td>めっき膜厚計</td><td>金属めっき膜の膜厚を測定するために使用する機器</td><td>－</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

	○手数料 名称 / 試験の概要 / 新単価※ XPS 測定装置による深さ方向分析 / 極表層の化学結合を同定する / ― ※　料金は、以下の計算式に基づき機器ごとに設定 ｛人件費＋減価償却費＋その他の経費(光熱水費、消耗品費、保守費等)｝×消費税
５　効果・影響	○　中小企業では保有することが困難な機器を企業等の利用に供するとともに、企業等からの依頼に基づき各種試験・分析等を行うことにより、県内中小企業等における生産性向上等を促進する。 ○増収見込額 ・使用料：1,160 千円 ・手数料：3,692 千円
６　施行日	令和６年 10 月１日 ※ ただし機器の新規開放に伴う項目追加･更新及び機器の老朽化等による項目削除に係る箇所については令和６年４月１日

７　参考事項

①利用件数及び収入推移

	利用件数 ※１	収入額(千円) ※２	新型コロナ減免措置件数	新型コロナ減免措置減免額(千円)
R1	13,511 件	27,683 千円	―	―
R2	18,555 件	25,501 千円	7,898 件	9,777 千円
R3	16,455 件	22,658 千円	5,065 件	7,348 千円
R4	18,144 件	28,800 千円	―	―

※１:減免した件数も含む。

※２:減免額含まず

②減免等の状況

○　茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例施行規則(昭和 51 年茨城県規則第 27 号)第 9 条に基づき、次に掲げる場合について使用料又は手数料の全部又は一部を免除する。

・他の地方公共団体その他公共団体において公用又は公共用のため設備を使用し，又は試験等を依頼するとき。

・公共的団体又は公益団体がその事務又は事業のために設備を使用し，又は試験等を依頼するとき。

・その他センター長が必要と認めるとき。

○　係る減免規定に基づき、R2.4.22～R3.9.30 の間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内中小企業に対し、以下の減免装置を講じた。

・公的融資制度を活用している県内中小企業：100%減免

・その他の県内中小企業：50%減免

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部 技術振興局 技術革新課

条例の名称	つくば創業プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正 （使用料等の改定）
１　制定（改正）の理由・根拠	使用料等については、原則３～４年毎に見直しを検討しているが、令和６年度が見直し時期にあたることから、改定作業を行ったところ、電気料金の高騰などを踏まえ、今回つくば創業プラザの施設使用料金の改定を行おうとするもの。 料金の見直しは、施設の設置以降、初めて。
２　制定（改正）の目的	使用料の見直し年度にあたることから、電気料金の高騰などを踏まえ、使用料を改定し、受益者負担の適正化を図る。
３　背景・必要性	電気料金、施設等の維持管理に要する経費が増加していることから、使用料を改定し、受益者負担の適正化を図る。
４　内　容	使用料の改定内容 ・事務室（１室１月につき） 104,500 円　→　105,050 円（＋550 円）
５　効果・影響	・増収見込み額：３９千円
６　施行日	・２０２４（Ｒ６）年１０月１日

７　参考事項

①利用者及び収入支出の推移（直近３年）　（単位：千円）

	入居率（年度平均）	収入	うち使用料	うち指定管理料	支出	うち光熱水費（指定管理者負担分）	（参考）電気料金単価（円/Kwh）
R2	91.7%	9,763	6,887	2,634	9,763	56	17
R3	91.7%	9,804	6,897	2,634	9,804	54	17
R4	87.5%	9,412	6,545	2,634	9,412	51	17

※R5 からの電気料金単価の高騰（17 円/Kwh→23 円/Kwh）などを踏まえて、今回、使用料を改定するもの

②施設の概要

創業を目指す起業家や新たな事業展開を目指す中小企業に対して、創業の準備や事業活動に必要なオフィスを廉価な価格で提供するとともに、支援員による相談や情報提供などを実施

所　在　地	つくば市東新井 13－２　※TX つくば駅から徒歩８分
開　業　年　月	令和元年 12 月
施　設　概　要	事務室（6 室）、会議室　等 ※民間ビルの一部（1 階・4 階）を借り上げ
管　理　手　法	指定管理 指定管理者：株式会社つくば研究支援センター 期　　間：５年間（令和５年４月１日から令和 10 年３月 31 日）
入 居 対 象 者	・創業のための活動に事務室を利用する者 ・創業後の事業活動に事務室を利用する者 ・新たな事業分野の開拓のための事業活動に事務室を利用する者

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部 技術振興局 技術革新課

<table>
<tr><td>条例の名称</td><td>茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例の一部改正
（使用料及び授業料の改定）</td></tr>
<tr><td>1　制定（改正）
の理由・根拠</td><td>茨城県立笠間陶芸大学校の授業料及び使用料の改定のため、所要の改正を行うもの。</td></tr>
<tr><td>2　制定（改正）
の目的</td><td>使用料等の見直し年度にあたることから、電気料金等の高騰を踏まえ、授業料及び使用料を改定する。また、老朽化により使用停止とする機器の使用料に係る項目を削除する。</td></tr>
<tr><td>3　背景・必要性</td><td>電気料金等の高騰により必要経費が増加しているため、授業料及び使用料を改定し、受益者負担の適正化を図る必要がある。また、老朽化により使用停止とする機器に係る項目を削除する必要がある。</td></tr>
<tr><td>4　内　容</td><td>（1）授業料の改定
電気料金等の高騰を踏まえ、授業料を次のとおり改定する。
<table>
<tr><td>現行</td><td>改正後</td></tr>
<tr><td>年額　234,600 円</td><td>年額　246,300 円</td></tr>
</table>
（2）使用料の改定
①　項目の更新（22 項目）
電気料金等の高騰を踏まえ、使用料を改定する。
【主な項目】
<table>
<tr><td>名称</td><td>機器の概要</td><td>単価※</td></tr>
<tr><td>小型電気炉高温酸化焼成</td><td>1000～1300℃で大気（酸化）焼成し陶磁器製品を作製する機器</td><td>4,950 円
（1 回）</td></tr>
</table>
※　料金は、以下の計算式に基づき機器ごとに設定
｛人件費＋減価償却費＋その他の経費(光熱水費、消耗品費、保守費等)｝×消費税
②　項目の削除（1 項目）
老朽化により使用停止とする機器の使用料に係る項目を削除する。
【削除項目】
<table>
<tr><td>名称</td><td>機器の概要</td><td>単価※</td></tr>
<tr><td>マイクロスコープ</td><td>物体表面を拡大観察する機器</td><td>－</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>5　効果・影響</td><td>○　陶芸に関する専門的な知識及び技術を有する人材を育成するとともに、中小企業では保有することが困難な機器を企業等の利用に供することにより、県内中小企業等における生産性向上等を促進する。
○増収見込額
・授業料：315 千円
・使用料：262 千円</td></tr>
<tr><td>6　施行日</td><td>・令和 6 年 10 月 1 日
※　ただし、機器の老朽化による項目削除に係る箇所については令和 6 年 4 月 1 日、授業料については令和 7 年 4 月 1 日</td></tr>
</table>

7　参考事項

（1）　授業料の改定

①学生数及び授業料の推移

（単位：人、千円）

	学生数	授業料収入
H30	21	4,809
R1	22	5,161
R2	25	5,865
R3	26	5,865
R4	24	5,552

②減免等の状況

○　茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例施行規則(平成 27 年茨城県規則第 77 号)第 10 条に掲げる次の理由等により、授業料の納付が困難と認められる場合、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予する。

・授業料等の負担者が生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）の規程による生活扶助を受けるに至ったこと。

・授業料等の負担者が災害、傷病、失業、生業不振その他の理由により著しく生活困難となったと認められること。

・知事が特に認めた理由。

○　H28 年度の開校以来、減免措置の実績なし。

（2）　使用料の改定

①利用者及び収入支出の推移

	利用件数 ※1	収入額(千円) ※2	新型コロナ減免措置 件数	新型コロナ減免措置 減免額(千円)
R1	603 件	362 千円	―	―
R2	669 件	349 千円	481 件	276 千円
R3	445 件	457 千円	227 件	214 千円
R4	386 件	382 千円	―	―

※1:減免した件数も含む。

※2:減免額含まず

②減免等の状況

○　茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例施行規則(平成 27 年茨城県規則第 77 号)第 25 条に基づき、次に掲げる場合について知事が必要と認める額を減免する。

・他の地方公共団体その他公共団体において公用又は公共用のため設備を使用するとき。

・公共的団体又は公益団体がその事務又は事業のため設備を使用するとき。

・その他知事が必要と認めるとき。

○　係る減免規定に基づき、R2.4.22～R3.9.30 の間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内中小企業に対し、以下の減免装置を講じた。

・公的融資制度を活用している県内中小企業：100%減免

・その他の県内中小企業：50%減免

様式３

主要事業等の概要（案）

産業戦略部 技術振興局 科学技術振興課

事業名又は議案の名　称	アンモニアサプライチェーン構築実行可能性調査事業
１　予 算 額	３０，０００千円
２　現況・課題	国では、ＧＸ経済移行債を活用して、水素等サプライチェーン構築に向けた集中的な投資を促進することしており、本年２月に閣議決定された「水素社会推進法案」では、低炭素水素等の供給・利用を早期に実現するため、計画認定を受けた事業者に対する、既存原燃料との価格差に着目した支援制度及び拠点整備支援制度を整備することとされた。
３　必要性・ねらい	大規模サプライチェーン構築のための供給基盤については、今後 10 年間で、大規模拠点３か所程度、中規模拠点５か所程度を目安に整備することとされており、本県が拠点となるよう、事業者が実施するアンモニアサプライチェーン構築に係る実行可能性調査を強力に後押していく必要がある。
４　事業の内容 （事業フロー、年次別・全体計画等）	本県を起点とする広域アンモニアサプライチェーンの構築に向けて、複数企業が連携して実施するアンモニアの供給・輸送・利用等に係る事業実行可能性調査を伴走支援する。 ＜支援内容＞ ・合同会議の設置・運営、事業者間調整 ・事業実行可能性調査全体の進行管理 ・インフラ整備に向けた一体的な計画策定 ＜調査対象設備（例）＞ ・共同貯蔵タンク、パイプライン、脱水素設備 ・内航船、荷役設備、ローリ払出設備
５　参考事項 （過去の実績、他県の状況、関連データ等）	◆令和５年度取組状況（実施主体：県） アンモニアサプライチェーン基盤・設備整備に係る初期調査 ①輸入バース及び共同貯蔵タンク適地調査 委託先：（株）IHI ②国内におけるアンモニア輸送方法調査 委託先：（株）JERA

様式３

条　例　（案）　の　概　要

産業戦略部 技術振興局 科学技術振興課

条例の名称	いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例の一部改正（使用料等の改定）
１　制定（改正）の理由・根拠	使用料等については、原則３～４年毎に見直しを検討しているが、令和６年度が見直し時期にあたることから、改定作業を行ったところ、電気料金の高騰などを踏まえ、今回施設使用料の改定を行おうとするもの。 料金の見直しは、消費税改定による値上げを除き、2008 年の開設以来初めて。
２　制定（改正）の目的	使用料の見直し年度にあたることから、電気料金等の高騰を踏まえ、使用料等を改定し、受益者負担の適正化を図る。
３　背景・必要性	電気料金、施設等の維持管理に要する経費が増加していることから、使用料等改定し、受益者負担の適正化を図る。
４　内　容	①使用料の改定内容 ・１号棟 １平方メートル当たり１月につき 1,050 円 → 1,060 円 ・２号棟（地上） １平方メートル当たり１月につき 1,570 円 → 1,580 円 ・２号棟（地下） １平方メートル当たり１月につき 2,350 円 → 2,360 円
５　効果・影響	・増収見込み額：807 千円
６　施行日	・2024（Ｒ６）年 10 月１日
７　参考事項	①利用者及び収入支出の推移 （単位：千円）

	利用機関数	収入	うち施設使用料	一財	支出	うち光熱水費
R1	１９	131,736	90,729	△11,880	119,856	48,635
R2	１９	172,582	92,574	△23,568	149,014	51,321
R3	２０	146,598	92,483	△19,744	126,854	60,170
R4	２０	160,178	95,234	△10,873	149,305	85,442

注）・R4 までは決算
・R5 年１月以降の光熱水費には、電気・ガス価格激変緩和対策に伴う値引き減が含まれる。

②減免等の状況
公益上必要があると認めるときは、条例及び規則に基づき使用料を減免

主要事業等の概要（案）

産業戦略部　労働政策課・技術革新課

事業名又は議案の名　称	日本製鉄鹿島地区の高炉１基休止への対応について
１　予 算 額	５，６９８千円
２　現況・課題	日本製鉄㈱では、生産設備構造対策として、２０２４年度末に東日本製鉄所鹿島地区の高炉２基のうちの１基の休止を予定している。 先般、日本製鉄㈱より高炉休止に伴う配置転換の規模（８０名）などが示されたことに伴い、県・市・国からなる対策本部会議を開催し、今後の対策検討などを行ったところ。
３　必要性・ねらい	日本製鉄㈱や地元中小企業・自治体等との連携を密に図り、高炉休止に伴う影響等を把握しながら、離職者への再就職支援や、地元企業の受注確保支援などを行い、地域経済への影響を最小限に抑えていく。
４　事業の内容 （事業フロー、年次別・全体計画等）	（１）離職者支援（2,308 千円） いばらき就職支援センター事業費（労働政策課）を拡充 ○離職者向け就職マッチング会の開催 開催時期：2024 年度後半 対 象 者：日本製鉄及び関連企業の離職者など 参集企業：鹿嶋･神栖及び近隣の採用希望企業 （２）受注確保支援（3,390 千円） 中小企業活性化対策費補助事業費（技術革新課）を拡充 ○ビジネスコーディネーターの配置 配 置 案：非常勤１名（地元企業に精通した企業 OB 等） 活動内容：地元中小企業のニーズと発注企業側のニーズを把握し、受発注マッチングを支援
５　参考事項 （過去の実績、他県の状況、関連データ等）	2021.3 日本製鉄㈱が鹿島地区の高炉１基休止の方針発表 以降、対策本部会議※の開催や知事要望などを実施 2024.2 日本製鉄㈱東日本製鉄所鹿島地区に係る合同対策本部（第 3 回） 2025.3 高炉２基のうち１基を休止（予定） ※日本製鉄㈱東日本製鉄所鹿島地区に係る合同対策本部（2021.3～） 本 部 長：茨城県知事 副本部長：鹿嶋市長、神栖市長、茨城県副知事 本 部 員：県･市関係課、関東経済産業局、茨城県労働局 （事務局：茨城県政策企画部地域振興課）

参　考

条例改正議案「新旧対照表」目次

改正条例の名称	頁
茨城県県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	２７
茨城県立産業技術短期大学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	２８
茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例	２９
つくば創業プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	４０
茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	４１
いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	４４

○茨城県県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例（昭和 49 年茨城県条例第 17 号）新旧対照表

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現　行</th></tr>
<tr><td>
（入学者選考試験手数料，入学料及び授業料）
第５条 職業能力開発校の普通課程（規則で定める訓練科を除く。）に入学を志願する者は入学者選考試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
２　入学者選考試験手数料，入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は，次の表のとおりとする。
<table>
<tr><th>授業料等の種類</th><th>金額</th></tr>
<tr><td>入学者選考試験手数料</td><td>2,200円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>5,650円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　139,600円</td></tr>
</table>
（退学の場合の授業料の額）
第７条　前条第3項第1号又は第2号に規定する期間の中途において退学した者に係るその期間に納付する授業料の額は，授業料の年額の12分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）にその期間の最初の月から退学した日の属する月までの月数を乗じて得た額とする。
</td><td>
（入学者選考試験手数料，入学料及び授業料）
第５条 職業能力開発校の普通課程（規則で定める訓練科を除く。）に入学を志願する者は入学者選考試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
２　入学者選考試験手数料，入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は，次の表のとおりとする。
<table>
<tr><th>授業料等の種類</th><th>金額</th></tr>
<tr><td>入学者選考試験手数料</td><td>2,200円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>5,650円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　118,800円</td></tr>
</table>
（退学の場合の授業料の額）
第７条　前条第3項第1号又は第2号に規定する期間の中途において退学した者に係るその期間に納付する授業料の額は，授業料の年額の12分の1に相当する額
にその期間の最初の月から退学した日の属する月までの月数を乗じて得た額とする。
</td></tr>
</table>

茨城県立産業技術短期大学校の設置及び管理に関する条例（平成16年茨城県条例第19号）新旧対照表

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>第5条
短期大学校に専門課程の訓練生として入学を志願する者は入学者選考試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
１から３（略）
４　入学者選考試験手数料，入学料，授業料，聴講料及び受講料（以下「授業料等」という。）の額は，次の表のとおりとする。

<table>
<tr><td>授業料等の種類</td><td>金額</td></tr>
<tr><td>入学者選考試験手数料</td><td>18,000円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>入学の日の1年前から引き続き県内に住所を有する者　126,750円
その他の者　195,000円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　392,800円</td></tr>
<tr><td>聴講料</td><td>1単位につき　5,000円</td></tr>
<tr><td>受講料</td><td>1科目につき　11,000円</td></tr>
</table></td><td>第5条
短期大学校に専門課程の訓練生として入学を志願する者は入学者選考試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
１から３（略）
４　入学者選考試験手数料，入学料，授業料，聴講料及び受講料（以下「授業料等」という。）の額は，次の表のとおりとする。

<table>
<tr><td>授業料等の種類</td><td>金額</td></tr>
<tr><td>入学者選考試験手数料</td><td>18,000円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>入学の日の1年前から引き続き県内に住所を有する者　126,750円
その他の者　195,000円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　390,000円</td></tr>
<tr><td>聴講料</td><td>1単位につき　5,000円</td></tr>
<tr><td>受講料</td><td>1科目につき　10,000円</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

使用料

茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例（昭和51年茨城県条例第14号）新旧対照表

R6.4.1施行

新

別表第１（第２条関係）使用料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分	設備の種類	単位	金額（単位　円）
強度試験機器	インストロン万能試験機（15トン）	1時間	1,430
	インストロン万能試験機（60トン）	1時間	1,760
	落下試験機	1時間	1,870
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320
	ブリネル硬度計	1時間	560
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機（樹脂の包埋）	1時間	1,100
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,760
	削除	削除	削除
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,520
	ICP発光分析装置	1時間	6,050
	原子吸光分析装置	1時間	4,400
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640
	赤外分光光度計	1時間	3,300
	ドラフトチャンバー	1時間	1,540
	三次元測定機	1時間	2,860
	金属顕微鏡（組織解析機能付）	1時間	1,540
	カーボンコーター（カーボンコーティング）	1時間	880
	スパッタリング装置	1時間	1,980
	雰囲気中液体急冷装置（アモルファス合金製造）	1時間	2,200
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,410
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,100
	粒度分布測定装置	1時間	1,650
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	5,830
	試料研磨機	1時間	1,100
	放電プラズマ焼結装置	1時間	2,420
	ラマン分光分析装置	1時間	2,200
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	1,870
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760
	エックス線残留応力測定装置	1時間	2,970
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090
	イオンミリング装置	1時間	2,310
	分光光度計	1時間	2,750
	卓上SEM	1時間	2,310
	デジタルマイクロスコープ	1時間	440
	真円度測定機	1時間	2,310
	画像測定機	1時間	1,870
洗浄関連機器	ファインバブル発生装置	1時間	1,540
電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	4,950
	耐ノイズ試験機	1時間	3,960
	EMI機器	1時間	4,730
	電源変動許容度試験器	1時間	2,640
	絶縁耐圧試験器	1時間	660
	漏れ電流試験器	1時間	660
	抵抗計	1時間	660
	通信環境評価装置	1時間	3,630
	電磁界可視化装置	1時間	2,640
	汎用型オシロスコープ	1時間	550
耐候試験機器	恒温恒湿器	1時間	2,970
		1時間を超え，1時間ごとに	660
	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,430
微生物試験関連機器	オートクレーブ	1時間	660
	低温恒温器	1日	1,320
金属工作機械	削除	削除	削除
	切断機	1時間	880
	削除	削除	削除
	油圧サーボプレス機（110トン）	1時間	3,960
	ダイカストマシンシステム	1日	175,450
	温間圧延機	1日	33,000
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180
木材工作機械	角のみ機	1時間	120
	超仕上鉋（かんな）盤	1時間	600
	手押し鉋（かんな）盤	1時間	440
	バンドソー	1時間	440
	昇降盤	1時間	230
	自動一面鉋（かんな）盤	1時間	950
	木工旋盤	1時間	230
設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,200
		1枚・A0判	1,760
		1枚・A1判	1,320
		1枚・A2判	1,100
	簡易3Dスキャナ	1時間	330
	三次元デジタイザ	1時間	1,870
自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	撮像検証システム	1時間	1,430
食品等分析・観察機器	アルコール分析機	1時間	660
	ガス透過率測定機	1時間	2,530
	赤外線水分計	1時間	880
	穀粒判別機	1時間	990
	水分活性測定装置	1時間	990
	テンシプレッサー	1時間	880
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	1,660
	ドラムドライヤー	1時間	1,000
	微粉砕試験機	1時間	1,000

旧

別表第１（第２条関係）使用料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分	設備の種類	単位	金額（単位　円）
強度試験機器	インストロン万能試験機（15トン）	1時間	1,430
	インストロン万能試験機（60トン）	1時間	1,760
	落下試験機	1時間	1,870
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320
	ブリネル硬度計	1時間	560
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機（樹脂の包埋）	1時間	1,100
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,760
	めっき膜厚計	1時間	230
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,520
	ICP発光分析装置	1時間	3,300
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640
	赤外分光光度計	1時間	3,300
	ドラフトチャンバー	1時間	1,540
	三次元測定機	1時間	2,860
	金属顕微鏡（組織解析機能付）	1時間	1,540
	カーボンコーター（カーボンコーティング）	1時間	880
	スパッタリング装置	1時間	1,980
	雰囲気中液体急冷装置（アモルファス合金製造）	1時間	2,200
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,410
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,100
	粒度分布測定装置	1時間	1,650
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	5,830
	試料研磨機	1時間	1,100
	放電プラズマ焼結装置	1時間	2,420
	ラマン分光分析装置	1時間	2,200
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	1,870
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760
	エックス線残留応力測定装置	1時間	2,970
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090
	イオンミリング装置	1時間	2,310
	分光光度計	1時間	2,750
	卓上SEM	1時間	2,310
	デジタルマイクロスコープ	1時間	440
	真円度測定機	1時間	2,310
	画像測定機	1時間	1,870
洗浄関連機器	ファインバブル発生装置	1時間	1,540
電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	4,950
	耐ノイズ試験機	1時間	3,960
	EMI機器	1時間	4,730
	電源変動許容度試験器	1時間	2,640
	絶縁耐圧試験器	1時間	660
	漏れ電流試験器	1時間	660
	抵抗計	1時間	660
	通信環境評価装置	1時間	3,630
	電磁界可視化装置	1時間	2,640
	汎用型オシロスコープ	1時間	550
耐候試験機器	恒温恒湿器	1時間	2,970
		1時間を超え，1時間ごとに	660
	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,430
微生物試験関連機器	オートクレーブ	1時間	660
	低温恒温器	1日	1,320
金属工作機械	鋸（のこ）盤	1時間	1,170
	切断機	1時間	880
	シャーリングマシン	1時間	880
	油圧サーボプレス機（110トン）	1時間	3,960
	ダイカストマシンシステム	1日	175,450
	温間圧延機	1日	33,000
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180
木材工作機械	角のみ機	1時間	120
	超仕上鉋（かんな）盤	1時間	600
	手押し鉋（かんな）盤	1時間	440
	バンドソー	1時間	440
	昇降盤	1時間	230
	自動一面鉋（かんな）盤	1時間	950
	木工旋盤	1時間	230
設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,200
		1枚・A0判	1,760
		1枚・A1判	1,320
		1枚・A2判	1,100
	簡易3Dスキャナ	1時間	330
	三次元デジタイザ	1時間	1,870
自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	撮像検証システム	1時間	1,430
食品等分析・観察機器	アルコール分析機	1時間	660
	ガス透過率測定機	1時間	2,530
	赤外線水分計	1時間	880
	穀粒判別機	1時間	990
	水分活性測定装置	1時間	990
	テンシプレッサー	1時間	880
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	1,660
	ドラムドライヤー	1時間	1,000
	微粉砕試験機	1時間	1,000

	ピンミル	1時間	1,650
	オーブン	1時間	770
	スチーマーボックス	1時間	770
	製麺機	1時間	2,200
	真空凍結乾燥機	1時間	880
	人工太陽照明システム	1時間	880
	加圧釜	1時間	1,210
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	880
	製品濾(ろ)過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位　円)
加工機類	力織機	1日	1,060
	整経機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	220
	綛返機	1日	600
	揚返機	1日	600
	撚(ねん)糸機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	120
	広幅整理機	1時間	1,100
	小型レピア試織機	1日	2,530
	遠心脱水機	1時間	660
	手動式かせ揚げ機	1日	660
	卓上型手織機	1日	660
	射出成形機	1時間	2,860
	マングル	1時間	660
	自動柄織織機システム	1時間	3,520
	大判プリンタ	1枚・A1判	880
	設計図案システム	1時間	660
	レバー式試料裁断機	1時間	660
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,760
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,420
	ミクロトーム	1時間	1,980
	凍結粉砕機	1時間	990
	切断機	1時間	1,760
	自動研磨機	1時間	1,100
	ワインダー	1時間	1,100
	サイジング機	1時間	1,100
	ホールガーメントコンピューター横編機	1時間	2,530
試験機器類	万能試験機	1時間	1,320
	通気度試験機	1時間	440
	電子顕微鏡	1時間	1,870

	ピンミル	1時間	1,650
	オーブン	1時間	770
	スチーマーボックス	1時間	770
	製麺機	1時間	2,200
	真空凍結乾燥機	1時間	880
	人工太陽照明システム	1時間	880
	加圧釜	1時間	1,210
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	880
	製品濾(ろ)過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位　円)
加工機類	力織機	1日	1,060
	整経機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	220
	綛返機	1日	600
	揚返機	1日	600
	撚(ねん)糸機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	120
	広幅整理機	1時間	1,100
	小型レピア試織機	1日	2,530
	遠心脱水機	1時間	660
	手動式かせ揚げ機	1日	660
	卓上型手織機	1日	660
	射出成形機	1時間	2,860
	マングル	1時間	660
	自動柄織織機システム	1時間	3,520
	大判プリンタ	1枚・A1判	880
	設計図案システム	1時間	660
	レバー式試料裁断機	1時間	660
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,760
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,420
	ミクロトーム	1時間	1,980
	凍結粉砕機	1時間	990
	切断機	1時間	1,760
	自動研磨機	1時間	1,100
	ワインダー	1時間	1,100
	サイジング機	1時間	1,100
	ホールガーメントコンピューター横編機	1時間	2,530
試験機器類	万能試験機	1時間	1,320
	通気度試験機	1時間	440
	電子顕微鏡	1時間	1,870

	メルトインデクサ		1時間	660
	試料作成機		1時間	440
	万能振子式衝撃試験機		1時間	540
	デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650
	超音波洗浄機		1時間	660
	布用厚さ測定器		1時間	560
	送風定温乾燥機		1時間	560
	接触角計		1時間	660
	破断観察装置(高速度カメラ)		1時間	2,090
	分光測色計		1時間	660
	ドライクリーニング試験機		1時間	770
	赤外線水分計		1時間	660
	引裂試験機		1時間	660
	変角光沢計		1時間	770
	摩擦堅ろう度試験機		1時間	660
	熱分析装置		1時間	3,520
	PVT装置		1時間	3,630
	熱拡散率・熱伝導率測定装置		1時間	3,740
	赤外分光光度計		1時間	2,640
	恒温恒湿器		1時間	770
	KES風合い試験機	引張せん断試験機	1時間	1,210
		純曲げ試験機	1時間	1,210
		大型曲げ試験機	1時間	1,210
		圧縮試験機	1時間	1,100
		表面試験機	1時間	1,210
		表面摩擦試験機	1時間	1,210
		サーモラボ	1時間	1,100
		大型ねじり試験機	1時間	1,210

	メルトインデクサ		1時間	660
	試料作成機		1時間	440
	万能振子式衝撃試験機		1時間	540
	デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650
	超音波洗浄機		1時間	660
	布用厚さ測定器		1時間	560
	送風定温乾燥機		1時間	560
	接触角計		1時間	660
	破断観察装置(高速度カメラ)		1時間	2,090
	分光測色計		1時間	660
	ドライクリーニング試験機		1時間	770
	赤外線水分計		1時間	660
	引裂試験機		1時間	660
	変角光沢計		1時間	770
	摩擦堅ろう度試験機		1時間	660
	熱分析装置		1時間	3,520
	PVT装置		1時間	3,630
	熱拡散率・熱伝導率測定装置		1時間	3,740
	赤外分光光度計		1時間	2,640
	恒温恒湿器		1時間	770
	KES風合い試験機	引張せん断試験機	1時間	1,210
		純曲げ試験機	1時間	1,210
		大型曲げ試験機	1時間	1,210
		圧縮試験機	1時間	1,100
		表面試験機	1時間	1,210
		表面摩擦試験機	1時間	1,210
		サーモラボ	1時間	1,100
		大型ねじり試験機	1時間	1,210

手数料

茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例（昭和51年茨城県条例第14号）新旧対照表

R6.4.1施行

新

別表第２（第２条関係）手数料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分			単位	金額（単位：円）
分析	定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの（マッピング分析以外のもの）	1試料・1測定	3,960
		微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	1試料・1測定	6,600
		電子顕微鏡によるもの	1試料・1箇所（写真1枚付）	8,690
		FT―IRによるもの	1試験・1測定	5,060
		赤外顕微鏡によるもの	1試験・1測定	6,930
		XPS測定装置による表面分析	1試験・1測定	16,610
			1試験・1測定（1条件増すごとに）	10,120
		削除	削除	削除
		ラマン分光分析装置によるもの	1試験・1測定	4,300
		エックス線回折装置によるもの	1試料・1測定	13,200
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	3,520
		ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	2,420
	定量分析	pH値測定	1試料	770
		ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	9,900
		原子吸光分析によるもの	1試料・1成分	8,030
		炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,510
	前処理	マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,380
		マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
		ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
		その他前処理	1時間	3,410
材料試験等	材料強度試験等	インストロン万能試験機（15トン）によるもの	1試料・1項目	3,520
		インストロン万能試験機（15トン）のアライメント調整	1件	11,000
		インストロン万能試験機（60トン）によるもの	1試料・1項目	4,070
	硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの	1試料・3点測定	1,540
			（追加1点増すごとに）	340
		ブリネル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,320
			（追加1点増すごとに）	340
		ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,430
			（追加1点増すごとに）	440
	疲労試験	疲労試験機によるもの（恒温槽の利用なし）	1試料・1時間	7,590
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	660
		疲労試験機によるもの（恒温槽の利用あり）	1試料・1時間	9,570
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用なし）	1試料・1時間	10,120
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,320
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用あり）	1試料・1時間	10,450
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,650
		平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	8,690
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,540
	削除	削除	削除	削除
		削除	削除	削除
		削除	削除	削除
		削除	削除	削除
	残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの（弾性定数測定以外のもの）	1測定	4,620
		削除	削除	削除
	非破壊試験（エックス線CT装置によるもの）		1試料・1時間	11,990
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	8,910
	焼結試験		1件	8,360
	削除		削除	削除
	透過率・反射率・吸光度測定		1試料・1測定	4,840
性能試験（長期性能試験）	耐食試験	塩水噴霧試験等（複合サイクル機によるもの）	1件・24時間	6,710
		塩水噴霧試験等（卓上型塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	4,730
		塩水噴霧試験等（塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	6,820
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間	11,880
			8時間を超え，1件8時間ごとに	4,960
		写真撮影	1枚	330
	劣化試験		1件・1時間	3,190
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
木材試験	木材含水率測定に係るもの		1件（5試料）	600
	木材比重測定に係るもの		1件（5試料）	1,270
表面処理試験	膜厚試験	削除	削除	削除
		蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定	3,410
	引っかき硬度（鉛筆法）		1件	2,860
	付着性（クロスカット法）		1件	2,760
精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの	1試料・1要素測定	2,860
		表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
			自動測定の追加・1測定	550
		真円度測定機によるもの	1試料・1測定	2,530
		画像測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	1,980
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,430
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	3,200
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	2,090
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210
		結晶方位測定	1試料・1測定	14,410
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,640
		走査型プローブ顕微鏡によるもの（環境制御ユニット使用）	1試料・1測定	20,350
	金属材料摩耗試験		1件・1時間	2,640
	前処理	試料埋込	1試料	1,210
		試料研磨	1試料	2,970
		試料蒸着処理	1試料	880
		結晶方位測定用処理	1試料	11,770
		イオンミリング	1時間	3,080

旧

別表第２（第２条関係）手数料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分			単位	金額（単位：円）
分析	定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの（マッピング分析以外のもの）	1試料・1測定	3,960
		微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	1試料・1測定	6,600
		電子顕微鏡によるもの	1試料・1箇所（写真1枚付）	8,420
		FT―IRによるもの	1試験・1測定	5,060
		赤外顕微鏡によるもの	1試験・1測定	6,930
		XPS測定装置による表面分析	1試験・1測定	16,610
			1試験・1測定（1条件増すごとに）	10,120
		XPS測定装置による深さ方向分析	1試験・1測定	88,560
		ラマン分光分析装置によるもの	1試験・1測定	4,300
		エックス線回折装置によるもの	1試料・1測定	13,200
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	3,520
		ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	2,420
	定量分析	pH値測定	1試料	770
		ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	4,840
		炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,510
	前処理	マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,380
		マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
		ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
		その他前処理	1時間	3,410
材料試験等	材料強度試験等	インストロン万能試験機（15トン）によるもの	1試料・1項目	3,520
		インストロン万能試験機（15トン）のアライメント調整	1件	11,000
		インストロン万能試験機（60トン）によるもの	1試料・1項目	4,070
	硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの	1試料・3点測定	1,540
			（追加1点増すごとに）	340
		ブリネル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,320
			（追加1点増すごとに）	340
		ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,430
			（追加1点増すごとに）	440
	疲労試験	疲労試験機によるもの（恒温槽の利用なし）	1試料・1時間	7,590
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	660
		疲労試験機によるもの（恒温槽の利用あり）	1試料・1時間	9,570
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用なし）	1試料・1時間	10,120
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,320
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用あり）	1試料・1時間	10,450
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,650
		平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	8,690
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,540
	低歪速度試験	低歪速度試験機によるもの（恒温槽の利用なし）	1試料・1時間	6,380
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,540
		低歪速度試験機によるもの（恒温槽の利用あり）	1試料・1時間	6,600
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,650
	残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの（弾性定数測定以外のもの）	1測定	4,620
		エックス線残留応力測定装置による弾性定数測定	1試料	6,930
	非破壊試験（エックス線CT装置によるもの）		1試料・1時間	11,990
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	8,910
	焼結試験		1件	8,360
	熱処理試験		1件・1時間	1,440
	透過率・反射率・吸光度測定		1試料・1測定	4,840
性能試験（長期性能試験）	耐食試験	塩水噴霧試験等（卓上型塩水噴霧試験機以外によるもの）	1件・24時間	6,710
		卓上型塩水噴霧試験機による塩水噴霧試験等	1件・24時間	4,730
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間	11,880
			8時間を超え，1件8時間ごとに	4,960
		写真撮影	1枚	330
	劣化試験		1件・1時間	3,190
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
木材試験	木材含水率測定に係るもの		1件（5試料）	600
	木材比重測定に係るもの		1件（5試料）	1,270
表面処理試験	膜厚試験	電解式膜厚計によるもの	1試料・1測定	2,200
		蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定	3,410
	引っかき硬度（鉛筆法）		1件	2,860
	付着性（クロスカット法）		1件	2,760
精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの	1試料・1要素測定	2,860
		表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
			自動測定の追加・1測定	550
		真円度測定機によるもの	1試料・1測定	2,530
		画像測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	1,980
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,430
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	3,200
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	2,090
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210
		結晶方位測定	1試料・1測定	14,410
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,640
		走査型プローブ顕微鏡によるもの（環境制御ユニット使用）	1試料・1測定	20,350
	金属材料摩耗試験		1件・1時間	2,640
	前処理	試料埋込	1試料	1,210
		試料研磨	1試料	2,970
		試料蒸着処理	1試料	880
		結晶方位測定用処理	1試料	11,770
		イオンミリング	1時間	3,080

		試料切断		0.5時間	1,980
設計支援	三次元形状データ作成(CAD)			1件・1時間	3,520
	解析シミュレーション(CAE)	設定		1件・1時間	3,520
		計算		1件・1時間	660
	塑性加工解析(CAE)	設定		1件・1時間	5,720
		計算		1件・1時間	2,420
	模型試作(CAM)	設定		1件・1時間	3,300
		加工		1件・1時間	340
	削除	削除		削除	削除
		削除		削除	削除
	3Dプリンタ(熱溶解積層法)	設定		1件・1時間	3,630
		樹脂造形		1件・1時間	880
		FRP造形		1件・1時間	1,650
	三次元デジタイザによるもの	形状測定		1時間	4,400
		データ処理		1時間	990
	電磁界解析(CAE)	設定		1件・1時間	7,040
		計算		1件・1時間	3,960
	3Dモデリングマシン	設定		1件・1時間	3,520
		造形		1件・1時間	660
	立体造形装置	設定		1件・1時間	3,740
		造形		1件・1時間	770
電気試験	絶縁耐圧試験			1試験・1測定	880
	ノイズ耐性試験			1件・0.5時間	2,530
	RFイミュニティ試験			1件・1時間	7,260
	EMI試験			1件・1時間	7,260
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)			1件・1時間	4,290
	電気計測（抵抗計によるもの）			1試験・1測定	990
	電気計測（デジタルマルチメータによるもの）			1試験・1測定	990
	耐環境試験	冷熱衝撃試験		1件・1時間	4,620
				1時間を超え，1件1時間ごとに	1,980
自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証			1件・1時間	3,630
	模擬スマート工場用プログラム作成			1件・1時間	3,410
	撮像検証システムによるもの			1試料・1測定	1,650
食品の分析，試験等	一般分析	削除		削除	削除
		定量分析		1試料・1成分	880
		削除		削除	削除
		ガスクロマトグラフによる分析		1試料・1測定	7,160
		生物顕微鏡による分析		1試験・1測定	1,430
		ヘッドスペースGC／MSによる定性分析		1試料・1測定	12,650
	削除	削除		削除	削除
		削除		削除	削除
		削除		削除	削除
	栄養成分分析	アミノ酸分析	指定アミノ酸17種類	1件(10試料)	45,540
			指定アミノ酸35種類	1件(3試料)	50,930
		窒素分析		1試料・1成分	2,640
		脂肪分析		1試料・1成分	4,620
	測定試験	削除		削除	削除
		削除		削除	削除
		削除		削除	削除
		食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,100
		削除		削除	削除
		澱^{でん}粉糊^{こ}化特性測定試験		1試験・1測定	3,740
		水分活性測定		1試験・1測定	1,540
		ガス透過率測定		1試料・1項目	8,690
		水分量測定（加熱乾燥法によるもの）		1試料	3,630
		水分量測定（赤外線水分計によるもの）		1試料	2,200
		グルコース分析		1試料・1測定	2,530
		デジタル糖度計による比重測定		1試料・1項目	1,210
		振動式密度計による測定		1試料・1項目	1,320
	細菌検査	一般細菌検査(一般生菌数，大腸菌群等)		1試料・1項目	3,200
		特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)		1試料・1項目	6,060
		その他の細菌検査(真菌，酵母等)		1試料・1項目	4,400
	酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)		1試料・1項目	5,490
		酵素力価測定(グルコアミラーゼ)		1試料・1項目	3,960
		酵素力価測定(α－アミラーゼ)		1試料・1項目	3,190
	抗菌試験			1試料・1項目	28,160
	保存試験			30日以内のもの1試料	2,810
	官能検査			1試料	600
	成績書交付			1通	560

備考　職員の派遣を要する試験，分析，検査，調製，加工等に係る手数料の額は，この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間１時間までごとに3,520円を加算した額とする。

		試料切断		0.5時間	1,980
設計支援	三次元形状データ作成(CAD)			1件・1時間	3,520
	解析シミュレーション(CAE)	設定		1件・1時間	3,520
		計算		1件・1時間	660
	塑性加工解析(CAE)	設定		1件・1時間	5,720
		計算		1件・1時間	2,420
	模型試作(CAM)	設定		1件・1時間	3,300
		加工		1件・1時間	340
	3Dプリンタ(インクジェット式)	設定		1件・1時間	3,630
		造形		1件・1時間	1,100
	3Dプリンタ(熱溶解積層法)	設定		1件・1時間	3,630
		樹脂造形		1件・1時間	880
		FRP造形		1件・1時間	1,650
	三次元デジタイザによるもの	形状測定		1時間	4,400
		データ処理		1時間	990
	電磁界解析(CAE)	設定		1件・1時間	7,040
		計算		1件・1時間	3,960
	3Dモデリングマシン	設定		1件・1時間	3,520
		造形		1件・1時間	660
	立体造形装置	設定		1件・1時間	3,740
		造形		1件・1時間	770
電気試験	絶縁耐圧試験			1試験・1測定	880
	ノイズ耐性試験			1件・0.5時間	2,530
	RFイミュニティ試験			1件・1時間	7,260
	EMI試験			1件・1時間	7,260
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)			1件・1時間	4,290
	電気計測（抵抗計によるもの）			1試験・1測定	990
	電気計測（デジタルマルチメータによるもの）			1試験・1測定	990
	耐環境試験	冷熱衝撃試験		1件・1時間	4,620
				1時間を超え，1件1時間ごとに	1,980
自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証			1件・1時間	3,630
	模擬スマート工場用プログラム作成			1件・1時間	3,410
	撮像検証システムによるもの			1試料・1測定	1,650
食品の分析，試験等	一般分析	定性分析		1試料・1成分	660
		定量分析		1試料・1成分	880
		機器分析		1試料・1成分	1,760
		ガスクロマトグラフによる分析		1試料・1測定	7,160
		生物顕微鏡による分析		1試験・1測定	1,430
		ヘッドスペースGC／MSによる定性分析		1試料・1測定	12,650
	特殊分析	定性分析		1試料・1成分	2,690
		定量分析		1試料・1成分	5,140
		機器分析		1試料・1成分	5,960
	栄養成分分析	アミノ酸分析	指定アミノ酸17種類	1件(10試料)	45,540
			指定アミノ酸35種類	1件(3試料)	50,930
		窒素分析		1試料・1成分	2,640
		脂肪分析		1試料・1成分	4,620
	測定試験	比重，屈折度等の測定		1試料・1項目	470
		溶解度，粘度等の測定		1試料・1項目	1,430
		精密測定試験		1試料・1項目	2,920
		食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,100
		澱^{でん}粉糊^{こ}化特性測定試験(試験条件のプログラム作成なし)		1試験・1測定	2,640
		澱^{でん}粉糊^{こ}化特性測定試験(試験条件のプログラム作成あり)		1試験・1測定	3,740
		水分活性測定		1試験・1測定	1,540
		ガス透過率測定		1試料・1項目	8,690
	細菌検査	一般細菌検査(一般生菌数，大腸菌群等)		1試料・1項目	3,200
		特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)		1試料・1項目	6,060
		その他の細菌検査(真菌，酵母等)		1試料・1項目	4,400
	酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)		1試料・1項目	5,490
		酵素力価測定(グルコアミラーゼ)		1試料・1項目	3,960
		酵素力価測定(α－アミラーゼ)		1試料・1項目	3,190
	抗菌試験			1試料・1項目	28,160
	保存試験			30日以内のもの1試料	2,810
	官能検査			1試料	600
	成績書交付			1通	560

備考　職員の派遣を要する試験，分析，検査，調製，加工等に係る手数料の額は，この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間１時間までごとに3,520円を加算した額とする。

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分			単位	金額(単位　円)
試験又は分析	各種繊維の繊度，繊維長，強伸度，水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	各種糸の太さ，より数，強伸度，糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	織物又は編物の目付，強伸度，通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,730
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,960
	精練，漂白，染色，糊付^{のりづけ}，仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,810以上9,580以下
	染色堅ろう度試験	熱湯，水，汗，洗濯，摩擦等	1件(1事項)	1,270
		耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,640

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分			単位	金額(単位　円)
試験又は分析	各種繊維の繊度，繊維長，強伸度，水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	各種糸の太さ，より数，強伸度，糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	織物又は編物の目付，強伸度，通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,730
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,960
	精練，漂白，染色，糊付^{のりづけ}，仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,810以上9,580以下
	染色堅ろう度試験	熱湯，水，汗，洗濯，摩擦等	1件(1事項)	1,270
		耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,640

			1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え，12時間まで	4,180
			12時間を超え，1件1時間ごとに	340
		耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	4,730
			6時間を超え，1件1時間ごとに	660
	耐候試験		1件(5試料)・8時間	3,080
			8時間を超え，1件1時間ごとに	340
	耐光試験(フェードメーターによるもの)		1件(5試料)・1時間	1,540
			追加5試料ごとに	330
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
	恒温恒湿試験		1件・1時間	1,430
			1時間を超え，1件1時間ごとに	220
	測色試験		1件	1,540
	洗濯試験		1件	2,200
	繊維，染料，助剤，薬剤等の分析及び応用試験		1件・1成分	2,910以上9,870以下
	プラスチック材料試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,240
		複雑なもの	1件(1事項)	4,380
		メルトインデクサによるもの	1件	2,310
	プラスチック試料作成	射出成形機によるもの	1件(5ショットまで)	3,850
			追加同一材料(5ショットまで)	770
		試料切断	1件	1,540
		試料研磨	1件	3,300
		冷間樹脂埋め	1試料	1,540
		その他の試料作成機等によるもの	1件(1事項)	1,020
	電子顕微鏡表面観察		1件(1事項)(写真1枚付)	4,510
			追加1箇所につき(写真1枚付)	880
	デジタルマイクロスコープ観察		1件(1事項)(写真1枚付)	2,090
			写真追加1枚につき	440
	疲労試験	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	6,050
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	8,140
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	880
	強度試験	万能試験機によるもの	1件	1,980
		高速度カメラによる破断観察	1件・1時間	3,960
	熱分析		1試料・1時間	4,510
	PVT測定		1条件	7,260
	摩擦処理試験		1試料(1,000回まで)	990
	熱拡散率測定		1測定	7,590
	KES風合い試験	引張せん断試験	1件(1事項)	1,870
		曲げ試験	1件(1事項)	1,870
		圧縮試験	1件(1事項)	1,760
		表面試験	1件(1事項)	1,870
		接触冷温感・熱伝導率・保湿性試験	1件(1事項)	1,760
		ねじり試験	1件(1事項)	1,870
		風合い値解析	1件(1事項)	990
	成績書交付		1通	560
試作又は加工	織物又は糸の精練，漂白，染色その他の加工		1件(1事項)	950以上8,890以下
	織物の整理仕上げ		1反又は12メートル	470以上3,860以下
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで，長さ30センチメートルまで)	6,820
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで，長さ100センチメートルまで)	31,460
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え，100センチメートルにつき)	3,740
	試編み（ホールガーメントコンピューター横編機によるもの）		1件(1事項)(幅90センチメートルまで，長さ50センチメートルまで)	3,410
			1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え，50センチメートルにつき)	1,430
図案の調製	設計図案データの作成		1件・0.5時間	1,660
	二次元形状データの作成		1件・0.5時間	1,660
	設計図案の印刷		1枚(長さ50センチメートル)	340

			1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え，12時間まで	4,180
			12時間を超え，1件1時間ごとに	340
		耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	4,730
			6時間を超え，1件1時間ごとに	660
	耐候試験		1件(5試料)・8時間	3,080
			8時間を超え，1件1時間ごとに	340
	耐光試験(フェードメーターによるもの)		1件(5試料)・1時間	1,540
			追加5試料ごとに	330
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
	恒温恒湿試験		1件・1時間	1,430
			1時間を超え，1件1時間ごとに	220
	測色試験		1件	1,540
	洗濯試験		1件	2,200
	繊維，染料，助剤，薬剤等の分析及び応用試験		1件・1成分	2,910以上9,870以下
	プラスチック材料試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,240
		複雑なもの	1件(1事項)	4,380
		メルトインデクサによるもの	1件	2,310
	プラスチック試料作成	射出成形機によるもの	1件(5ショットまで)	3,850
			追加同一材料(5ショットまで)	770
		試料切断	1件	1,540
		試料研磨	1件	3,300
		冷間樹脂埋め	1試料	1,540
		その他の試料作成機等によるもの	1件(1事項)	1,020
	電子顕微鏡表面観察		1件(1事項)(写真1枚付)	4,510
			追加1箇所につき(写真1枚付)	880
	デジタルマイクロスコープ観察		1件(1事項)(写真1枚付)	2,090
			写真追加1枚につき	440
	疲労試験	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	6,050
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	8,140
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	880
	強度試験	万能試験機によるもの	1件	1,980
		高速度カメラによる破断観察	1件・1時間	3,960
	熱分析		1試料・1時間	4,510
	PVT測定		1条件	7,260
	摩擦処理試験		1試料(1,000回まで)	990
	熱拡散率測定		1測定	7,590
	KES風合い試験	引張せん断試験	1件(1事項)	1,870
		曲げ試験	1件(1事項)	1,870
		圧縮試験	1件(1事項)	1,760
		表面試験	1件(1事項)	1,870
		接触冷温感・熱伝導率・保湿性試験	1件(1事項)	1,760
		ねじり試験	1件(1事項)	1,870
		風合い値解析	1件(1事項)	990
	成績書交付		1通	560
試作又は加工	織物又は糸の精練，漂白，染色その他の加工		1件(1事項)	950以上8,890以下
	織物の整理仕上げ		1反又は12メートル	470以上3,860以下
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで，長さ30センチメートルまで)	6,820
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで，長さ100センチメートルまで)	31,460
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え，100センチメートルにつき)	3,740
	試編み（ホールガーメントコンピューター横編機によるもの）		1件(1事項)(幅90センチメートルまで，長さ50センチメートルまで)	3,410
			1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え，50センチメートルにつき)	1,430
図案の調製	設計図案データの作成		1件・0.5時間	1,660
	二次元形状データの作成		1件・0.5時間	1,660
	設計図案の印刷		1枚(長さ50センチメートル)	340

3　茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分		単位	金額(単位　円)
窯業試験	素^{生}地試験	1件	2,690
	熱分析試験	1件	4,180
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	2,690
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	1,020
	エックス線回折試験	1件	4,720
	削除	削除	削除
	粒度分布試験	1件	3,710
	吸水試験	1件	670
	強度試験	1件	600
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩^{かさ}比重試験	1件	1,120
	耐薬品試験	1件	1,350
	外圧試験	1件	1,470
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	2,420
	削除	削除	削除
	成績書交付	1通	560
試作又は加工		1件	470以上 69,270以下

3　茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分		単位	金額(単位　円)
窯業試験	素^{生}地試験	1件	2,690
	熱分析試験	1件	4,180
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	2,690
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	1,020
	エックス線回折試験	1件	4,720
	電子顕微鏡観察(表面)試験	1件	2,810
	粒度分布試験	1件	3,710
	吸水試験	1件	670
	強度試験	1件	600
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩^{かさ}比重試験	1件	1,120
	耐薬品試験	1件	1,350
	外圧試験	1件	1,470
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	2,420
	その他の試験	1件	知事がその都度定める額
	成績書交付	1通	560
試作又は加工		1件	470以上 69,270以下

使用料

茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例（昭和51年茨城県条例第14号）新旧対照表

R6.10.1施行

新

別表第１（第２条関係）使用料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分	設備の種類	単位	金額（単位　円）
強度試験機器	インストロン万能試験機（15トン）	1時間	1,650
	インストロン万能試験機（60トン）	1時間	1,980
	落下試験機	1時間	1,870
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320
	ブリネル硬度計	1時間	660
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機（樹脂の包埋）	1時間	1,210
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,870
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,520
	ICP発光分析装置	1時間	6,050
	原子吸光分析装置	1時間	4,400
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640
	赤外分光光度計	1時間	3,520
	ドラフトチャンバー	1時間	1,650
	三次元測定機	1時間	2,860
	金属顕微鏡（組織解析機能付）	1時間	1,650
	カーボンコーター（カーボンコーティング）	1時間	880
	スパッタリング装置	1時間	2,420
	雰囲気中液体急冷装置（アモルファス合金製造）	1時間	3,080
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,520
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,320
	粒度分布測定装置	1時間	1,650
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	6,160
	試料研磨機	1時間	1,210
	放電プラズマ焼結装置	1時間	3,630
	ラマン分光分析装置	1時間	2,530
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	2,090
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760
	エックス線残留応力測定装置	1時間	3,410
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090
	イオンミリング装置	1時間	2,530
	分光光度計	1時間	2,970
	卓上SEM	1時間	2,860
	デジタルマイクロスコープ	1時間	770
	真円度測定機	1時間	2,310
	画像測定機	1時間	1,870
洗浄関連機器	ファインバブル発生装置	1時間	1,540
電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	6,600
	耐ノイズ試験機	1時間	4,620
	EMI機器	1時間	5,940
	電源変動許容度試験器	1時間	2,750
	絶縁耐圧試験器	1時間	1,320
	漏れ電流試験器	1時間	1,870
	抵抗計	1時間	990
	通信環境評価装置	1時間	4,730
	電磁界可視化装置	1時間	3,410
	汎用型オシロスコープ	1時間	880
耐候試験機器	恒温恒湿器	1時間	3,080
		1時間を超え，1時間ごとに	660
	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,540
微生物試験関連機器	オートクレーブ	1時間	990
	低温恒温器	1日	2,090
金属工作機械	切断機	1時間	880
	油圧サーボプレス機（110トン）	1時間	4,180
	ダイカストマシンシステム	1日	176,660
	温間圧延機	1日	35,860
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180
木材工作機械	角のみ機	1時間	120
	超仕上鉋盤	1時間	600
	手押し鉋盤	1時間	550
	バンドソー	1時間	550
	昇降盤	1時間	330
	自動一面鉋盤	1時間	950
	木工旋盤	1時間	230
設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,420
		1枚・A0判	2,090
		1枚・A1判	1,540
		1枚・A2判	1,320
	簡易3Dスキャナ	1時間	440
	三次元デジタイザ	1時間	1,980
自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,320
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,320
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,320
	撮像検証システム	1時間	1,430
食品等分析・観察機器	アルコール分析機	1時間	770
	ガス透過率測定機	1時間	2,750
	赤外線水分計	1時間	990
	穀粒判別機	1時間	1,100
	水分活性測定装置	1時間	1,100
	テンシプレッサー	1時間	880
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	2,970
	ドラムドライヤー	1時間	1,760
	微粉砕試験機	1時間	1,000
	ピンミル	1時間	1,760
	オーブン	1時間	880
	スチーマーボックス	1時間	2,750

旧

別表第１（第２条関係）使用料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分	設備の種類	単位	金額（単位　円）
強度試験機器	インストロン万能試験機（15トン）	1時間	1,430
	インストロン万能試験機（60トン）	1時間	1,760
	落下試験機	1時間	1,870
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320
	ブリネル硬度計	1時間	560
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機（樹脂の包埋）	1時間	1,100
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,760
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,520
	ICP発光分析装置	1時間	6,050
	原子吸光分析装置	1時間	4,400
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640
	赤外分光光度計	1時間	3,300
	ドラフトチャンバー	1時間	1,540
	三次元測定機	1時間	2,860
	金属顕微鏡（組織解析機能付）	1時間	1,540
	カーボンコーター（カーボンコーティング）	1時間	880
	スパッタリング装置	1時間	1,980
	雰囲気中液体急冷装置（アモルファス合金製造）	1時間	2,200
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,410
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,100
	粒度分布測定装置	1時間	1,650
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	5,830
	試料研磨機	1時間	1,100
	放電プラズマ焼結装置	1時間	2,420
	ラマン分光分析装置	1時間	2,200
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	1,870
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760
	エックス線残留応力測定装置	1時間	2,970
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090
	イオンミリング装置	1時間	2,310
	分光光度計	1時間	2,750
	卓上SEM	1時間	2,310
	デジタルマイクロスコープ	1時間	440
	真円度測定機	1時間	2,310
	画像測定機	1時間	1,870
洗浄関連機器	ファインバブル発生装置	1時間	1,540
電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	4,950
	耐ノイズ試験機	1時間	3,960
	EMI機器	1時間	4,730
	電源変動許容度試験器	1時間	2,640
	絶縁耐圧試験器	1時間	660
	漏れ電流試験器	1時間	660
	抵抗計	1時間	660
	通信環境評価装置	1時間	3,630
	電磁界可視化装置	1時間	2,640
	汎用型オシロスコープ	1時間	550
耐候試験機器	恒温恒湿器	1時間	2,970
		1時間を超え，1時間ごとに	660
	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,430
微生物試験関連機器	オートクレーブ	1時間	660
	低温恒温器	1日	1,320
金属工作機械	切断機	1時間	880
	油圧サーボプレス機（110トン）	1時間	3,960
	ダイカストマシンシステム	1日	175,450
	温間圧延機	1日	33,000
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180
木材工作機械	角のみ機	1時間	120
	超仕上鉋盤	1時間	600
	手押し鉋盤	1時間	440
	バンドソー	1時間	440
	昇降盤	1時間	230
	自動一面鉋盤	1時間	950
	木工旋盤	1時間	230
設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,200
		1枚・A0判	1,760
		1枚・A1判	1,320
		1枚・A2判	1,100
	簡易3Dスキャナ	1時間	330
	三次元デジタイザ	1時間	1,870
自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,210
	撮像検証システム	1時間	1,430
食品等分析・観察機器	アルコール分析機	1時間	660
	ガス透過率測定機	1時間	2,530
	赤外線水分計	1時間	880
	穀粒判別機	1時間	990
	水分活性測定装置	1時間	990
	テンシプレッサー	1時間	880
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	1,660
	ドラムドライヤー	1時間	1,000
	微粉砕試験機	1時間	1,000
	ピンミル	1時間	1,650
	オーブン	1時間	770
	スチーマーボックス	1時間	770

	製麺機	1時間	2,530
	真空凍結乾燥機	1時間	990
	人工太陽照明システム	1時間	990
	加圧釜	1時間	2,420
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	990
	製品濾(ろ)過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

	製麺機	1時間	2,200
	真空凍結乾燥機	1時間	880
	人工太陽照明システム	1時間	880
	加圧釜	1時間	1,210
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	880
	製品濾(ろ)過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位　円)
加工機類	力織機	1日	1,100
	整経機	1時間	770
		1時間を超え，1時間ごとに	220
	繰返機	1日	660
	揚返機	1日	600
	撚(ねん)糸機	1時間	770
		1時間を超え，1時間ごとに	120
	広幅整理機	1時間	1,210
	小型レピア試織機	1日	3,300
	遠心脱水機	1時間	770
	手動式かせ揚げ機	1日	660
	卓上型手織機	1日	660
	射出成形機	1時間	3,080
	マングル	1時間	770
	自動柄織織機システム	1時間	3,520
	大判プリンタ	1枚・A1判	990
	設計図案システム	1時間	770
	レバー式試料裁断機	1時間	660
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,980
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,640
	ミクロトーム	1時間	2,090
	凍結粉砕機	1時間	990
	切断機	1時間	1,760
	自動研磨機	1時間	1,100
	ワインダー	1時間	1,100
	サイジング機	1時間	1,320
	ホールガーメントコンピューター横編機	1時間	2,530
試験機器類	万能試験機	1時間	1,650
	通気度試験機	1時間	550
	電子顕微鏡	1時間	1,980
	メルトインデクサ	1時間	770
	試料作成機	1時間	660
	万能振子式衝撃試験機	1時間	770

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位　円)
加工機類	力織機	1日	1,060
	整経機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	220
	繰返機	1日	600
	揚返機	1日	600
	撚(ねん)糸機	1時間	660
		1時間を超え，1時間ごとに	120
	広幅整理機	1時間	1,100
	小型レピア試織機	1日	2,530
	遠心脱水機	1時間	660
	手動式かせ揚げ機	1日	660
	卓上型手織機	1日	660
	射出成形機	1時間	2,860
	マングル	1時間	660
	自動柄織織機システム	1時間	3,520
	大判プリンタ	1枚・A1判	880
	設計図案システム	1時間	660
	レバー式試料裁断機	1時間	660
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,760
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,420
	ミクロトーム	1時間	1,980
	凍結粉砕機	1時間	990
	切断機	1時間	1,760
	自動研磨機	1時間	1,100
	ワインダー	1時間	1,100
	サイジング機	1時間	1,100
	ホールガーメントコンピューター横編機	1時間	2,530
試験機器類	万能試験機	1時間	1,320
	通気度試験機	1時間	440
	電子顕微鏡	1時間	1,870
	メルトインデクサ	1時間	660
	試料作成機	1時間	440
	万能振子式衝撃試験機	1時間	540

	デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650
	超音波洗浄機		1時間	770
	布用厚さ測定器		1時間	660
	送風定温乾燥機		1時間	660
	接触角計		1時間	660
	破断観察装置(高速度カメラ)		1時間	2,200
	分光測色計		1時間	770
	ドライクリーニング試験機		1時間	770
	赤外線水分計		1時間	660
	引裂試験機		1時間	660
	変角光沢計		1時間	770
	摩擦堅ろう度試験機		1時間	660
	熱分析装置		1時間	3,630
	PVT装置		1時間	3,740
	熱拡散率・熱伝導率測定装置		1時間	3,740
	赤外分光光度計		1時間	2,640
	恒温恒湿器		1時間	880
	KES風合い試験機	引張せん断試験機	1時間	1,210
		純曲げ試験機	1時間	1,210
		大型曲げ試験機	1時間	1,210
		圧縮試験機	1時間	1,100
		表面試験機	1時間	1,210
		表面摩擦試験機	1時間	1,210
		サーモラボ	1時間	1,100
		大型ねじり試験機	1時間	1,210

	デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650
	超音波洗浄機		1時間	660
	布用厚さ測定器		1時間	560
	送風定温乾燥機		1時間	560
	接触角計		1時間	660
	破断観察装置(高速度カメラ)		1時間	2,090
	分光測色計		1時間	660
	ドライクリーニング試験機		1時間	770
	赤外線水分計		1時間	660
	引裂試験機		1時間	660
	変角光沢計		1時間	770
	摩擦堅ろう度試験機		1時間	660
	熱分析装置		1時間	3,520
	PVT装置		1時間	3,630
	熱拡散率・熱伝導率測定装置		1時間	3,740
	赤外分光光度計		1時間	2,640
	恒温恒湿器		1時間	770
	KES風合い試験機	引張せん断試験機	1時間	1,210
		純曲げ試験機	1時間	1,210
		大型曲げ試験機	1時間	1,210
		圧縮試験機	1時間	1,100
		表面試験機	1時間	1,210
		表面摩擦試験機	1時間	1,210
		サーモラボ	1時間	1,100
		大型ねじり試験機	1時間	1,210

手数料

茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例（昭和51年茨城県条例第14号）新旧対照表

R6.10.1施行

新

別表第２（第２条関係）手数料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分			単位	金額（単位：円）
分析	定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの（マッピング分析以外のもの）	1試料・1測定	3,960
		微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	1試料・1測定	6,600
		電子顕微鏡によるもの	1試料・1箇所（写真1枚付）	8,690
		FT―IRによるもの	1試験・1測定	5,280
		赤外顕微鏡によるもの	1試験・1測定	7,040
		XPS測定装置による表面分析	1試験・1測定	16,610
			1試験・1測定（1条件増すごとに）	10,120
		ラマン分光分析装置によるもの	1試験・1測定	5,500
		エックス線回折装置によるもの	1試料・1測定	14,630
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	3,960
		ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	2,420
	定量分析	pH値測定	1試料	1,210
		ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	9,900
		原子吸光分析によるもの	1試料・1成分	8,030
		炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,840
	前処理	マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,600
		マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
		ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
		その他前処理	1時間	3,630
材料試験等	材料強度試験等	インストロン万能試験機（15トン）によるもの	1試料・1項目	3,850
		インストロン万能試験機（15トン）のアライメント調整	1件	12,210
		インストロン万能試験機（60トン）によるもの	1試料・1項目	4,730
	硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの	1試料・3点測定	1,760
			（追加1点増すごとに）	440
		ブリネル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,540
			（追加1点増すごとに）	340
		ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,430
			（追加1点増すごとに）	440
	疲労試験	疲労試験機によるもの（恒温槽の利用なし）	1試料・1時間	8,580
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機によるもの（恒温槽の利用あり）	1試料・1時間	11,110
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	990
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用なし）	1試料・1時間	11,110
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,760
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用あり）	1試料・1時間	11,660
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	2,420
		平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	9,350
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,540
	残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの（弾性定数測定以外のもの）	1測定	5,170
	非破壊試験（エックス線CT装置によるもの）		1試料・1時間	12,100
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	9,020
	焼結試験		1件	11,000
	透過率・反射率・吸光度測定		1試料・1測定	4,840
性能試験（長期性能試験）	耐食試験	塩水噴霧試験等（複合サイクル機によるもの）	1件・24時間	7,810
		塩水噴霧試験等（卓上型塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	5,390
		塩水噴霧試験等（塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	6,820
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間	12,980
			8時間を超え，1件8時間ごとに	5,280
		写真撮影	1枚	330
	劣化試験		1件・1時間	3,410
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
木材試験	木材含水率測定に係るもの		1件（5試料）	660
	木材比重測定に係るもの		1件（5試料）	1,430
表面処理	膜厚試験	蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定	3,630
	引っかき硬度（鉛筆法）		1件	3,190
	付着性（クロスカット法）		1件	3,190
精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの	1試料・1要素測定	2,970
		表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1測定	2,530
			自動測定の追加・1測定	550
		真円度測定機によるもの	1試料・1測定	2,530
		画像測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	2,200
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,540
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	3,410
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	2,420
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210
		結晶方位測定	1試料・1測定	16,280
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,750
		走査型プローブ顕微鏡によるもの（環境制御ユニット使用）	1試料・1測定	20,350
	金属材料摩耗試験		1件・1時間	2,750
	前処理	試料埋込	1試料	1,320
		試料研磨	1試料	3,190
		試料蒸着処理	1試料	990
		結晶方位測定用処理	1試料	12,210
		イオンミリング	1時間	3,960
		試料切断	0.5時間	1,980
設計支援	三次元形状データ作成（CAD）		1件・1時間	3,740
	解析シミュレーション（CAE）	設定	1件・1時間	4,180
		計算	1件・1時間	990
	塑性加工解析（CAE）	設定	1件・1時間	6,050
		計算	1件・1時間	2,750
	模型試作（CAM）	設定	1件・1時間	3,630
		加工	1件・1時間	440

旧

別表第２（第２条関係）手数料

１　茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校を除く。）

区分			単位	金額（単位：円）
分析	定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの（マッピング分析以外のもの）	1試料・1測定	3,960
		微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	1試料・1測定	6,600
		電子顕微鏡によるもの	1試料・1箇所（写真1枚付）	8,420
		FT―IRによるもの	1試験・1測定	5,060
		赤外顕微鏡によるもの	1試験・1測定	6,930
		XPS測定装置による表面分析	1試験・1測定	16,610
			1試験・1測定（1条件増すごとに）	10,120
		ラマン分光分析装置によるもの	1試験・1測定	4,300
		エックス線回折装置によるもの	1試料・1測定	13,200
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	3,520
		ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	2,420
	定量分析	pH値測定	1試料	770
		ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	9,900
		原子吸光分析によるもの	1試料・1成分	8,030
		炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,510
	前処理	マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,380
		マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
		ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
		その他前処理	1時間	3,410
材料試験等	材料強度試験等	インストロン万能試験機（15トン）によるもの	1試料・1項目	3,520
		インストロン万能試験機（15トン）のアライメント調整	1件	11,000
		インストロン万能試験機（60トン）によるもの	1試料・1項目	4,070
	硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの	1試料・3点測定	1,540
			（追加1点増すごとに）	340
		ブリネル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,320
			（追加1点増すごとに）	340
		ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,430
			（追加1点増すごとに）	440
	疲労試験	疲労試験機によるもの（恒温槽の利用なし）	1試料・1時間	7,590
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	660
		疲労試験機によるもの（恒温槽の利用あり）	1試料・1時間	9,570
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用なし）	1試料・1時間	10,120
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,320
		疲労試験機（15kN）によるもの（高温炉の利用あり）	1試料・1時間	10,450
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,650
		平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	8,690
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,540
	残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの（弾性定数測定以外のもの）	1測定	4,620
	非破壊試験（エックス線CT装置によるもの）		1試料・1時間	11,990
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	8,910
	焼結試験		1件	8,360
	透過率・反射率・吸光度測定		1試料・1測定	4,840
性能試験（長期性能試験）	耐食試験	塩水噴霧試験等（複合サイクル機によるもの）	1件・24時間	6,710
		塩水噴霧試験等（卓上型塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	4,730
		塩水噴霧試験等（塩水噴霧試験機によるもの）	1件・24時間	6,820
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間	11,880
			8時間を超え，1件8時間ごとに	4,960
		写真撮影	1枚	330
	劣化試験		1件・1時間	3,190
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660
木材試験	木材含水率測定に係るもの		1件（5試料）	600
	木材比重測定に係るもの		1件（5試料）	1,270
表面処理	膜厚試験	蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定	3,410
	引っかき硬度（鉛筆法）		1件	2,860
	付着性（クロスカット法）		1件	2,760
精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの	1試料・1要素測定	2,860
		表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
			自動測定の追加・1測定	550
		真円度測定機によるもの	1試料・1測定	2,530
		画像測定機によるもの	1試料・1測定	2,200
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	1,980
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,430
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	3,200
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所（写真1枚付）	2,090
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210
		結晶方位測定	1試料・1測定	14,410
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,640
		走査型プローブ顕微鏡によるもの（環境制御ユニット使用）	1試料・1測定	20,350
	金属材料摩耗試験		1件・1時間	2,640
	前処理	試料埋込	1試料	1,210
		試料研磨	1試料	2,970
		試料蒸着処理	1試料	880
		結晶方位測定用処理	1試料	11,770
		イオンミリング	1時間	3,080
		試料切断	0.5時間	1,980
設計支援	三次元形状データ作成（CAD）		1件・1時間	3,520
	解析シミュレーション（CAE）	設定	1件・1時間	3,520
		計算	1件・1時間	660
	塑性加工解析（CAE）	設定	1件・1時間	5,720
		計算	1件・1時間	2,420
	模型試作（CAM）	設定	1件・1時間	3,300
		加工	1件・1時間	340

	3Dプリンタ(熱溶解積層法)	設定		1件・1時間	4,070
		樹脂造形		1件・1時間	990
		FRP造形		1件・1時間	1,980
	三次元デジタイザによるもの	形状測定		1時間	4,620
		データ処理		1時間	990
	電磁界解析(CAE)	設定		1件・1時間	7,590
		計算		1件・1時間	4,290
	3Dモデリングマシン	設定		1件・1時間	4,070
		造形		1件・1時間	770
	立体造形装置	設定		1件・1時間	3,740
		造形		1件・1時間	770
電気試験	絶縁耐圧試験			1試験・1測定	990
	ノイズ耐性試験			1件・0.5時間	3,190
	RFイミュニティ試験			1件・1時間	8,910
	EMI試験			1件・1時間	8,580
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)			1件・1時間	5,170
	電気計測（抵抗計によるもの）			1試験・1測定	990
	電気計測（デジタルマルチメータによるもの）			1試験・1測定	1,540
	耐環境試験	冷熱衝撃試験		1件・1時間	5,390
				1時間を超え，1件1時間ごとに	2,420
自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証			1件・1時間	3,630
	模擬スマート工場用プログラム作成			1件・1時間	3,630
	撮像検証システムによるもの			1試料・1測定	1,650
食品の分析，試験等	一般分析	定量分析		1試料・1成分	990
		ガスクロマトグラフによる分析		1試料・1測定	7,590
		生物顕微鏡による分析		1試験・1測定	1,430
		ヘッドスペースGC／MSによる定性分析		1試料・1測定	13,970
	栄養成分分析	アミノ酸分析	指定アミノ酸17種類	1件(10試料)	55,330
			指定アミノ酸35種類	1件(3試料)	60,720
		窒素分析		1試料・1成分	3,190
		脂肪分析		1試料・1成分	4,620
	測定試験	食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,420
		澱ﾃﾞﾝ粉糊ﾌｧﾘﾝ化特性測定試験		1試験・1測定	3,850
		水分活性測定		1試験・1測定	1,650
		ガス透過率測定		1試料・1項目	9,130
		水分量測定（加熱乾燥法によるもの）		1試料	3,630
		水分量測定（赤外線水分計によるもの）		1試料	2,200
		グルコース分析		1試料・1測定	2,530
		デジタル糖度計による比重測定		1試料・1項目	1,210
		振動式密度計による測定		1試料・1項目	1,320
	細菌検査	一般細菌検査(一般生菌数，大腸菌群等)		1試料・1項目	3,410
		特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)		1試料・1項目	6,600
		その他の細菌検査(真菌，酵母等)		1試料・1項目	4,950
	酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)		1試料・1項目	5,830
		酵素力価測定(グルコアミラーゼ)		1試料・1項目	4,180
		酵素力価測定(α―アミラーゼ)		1試料・1項目	3,410
	抗菌試験			1試料・1項目	31,020
	保存試験			30日以内のもの1試料	3,080
	官能検査			1試料	1,540
	成績書交付			1通	660

備考　職員の派遣を要する試験，分析，検査，調製，加工等に係る手数料の額は，この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間１時間までごとに3,630円を加算した額とする。

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分			単位	金額(単位　円)
試験又は分析	各種繊維の繊度，繊維長，強伸度，水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項)	2,090
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270
	各種糸の太さ，より数，強伸度，糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,090
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270
	織物又は編物の目付，強伸度，通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,090
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項)	2,090
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400
		複雑なもの	1件(1事項)	6,380
	精練，漂白，染色，糊付ﾉﾘﾂｹ，仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,970以上 10,450以下
	染色堅ろう度試験	熱湯，水，汗，洗濯，摩擦等	1件(1事項)	1,430
		耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,860
			1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え，12時間まで	4,620
			12時間を超え，1件1時間ごとに	340
		耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	5,500
			6時間を超え，1件1時間ごとに	770
	耐候試験		1件(5試料)・8時間	4,070
			8時間を超え，1件1時間ごとに	550
	耐光試験(フェードメーターによるもの)		1件(5試料)・1時間	1,760
			追加5試料ごとに	330
			1時間を超え，1件1時間ごとに	770

	3Dプリンタ(熱溶解積層法)	設定		1件・1時間	3,630
		樹脂造形		1件・1時間	880
		FRP造形		1件・1時間	1,650
	三次元デジタイザによるもの	形状測定		1時間	4,400
		データ処理		1時間	990
	電磁界解析(CAE)	設定		1件・1時間	7,040
		計算		1件・1時間	3,960
	3Dモデリングマシン	設定		1件・1時間	3,520
		造形		1件・1時間	660
	立体造形装置	設定		1件・1時間	3,740
		造形		1件・1時間	770
電気試験	絶縁耐圧試験			1試験・1測定	880
	ノイズ耐性試験			1件・0.5時間	2,530
	RFイミュニティ試験			1件・1時間	7,260
	EMI試験			1件・1時間	7,260
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)			1件・1時間	4,290
	電気計測（抵抗計によるもの）			1試験・1測定	990
	電気計測（デジタルマルチメータによるもの）			1試験・1測定	990
	耐環境試験	冷熱衝撃試験		1件・1時間	4,620
				1時間を超え，1件1時間ごとに	1,980
自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証			1件・1時間	3,630
	模擬スマート工場用プログラム作成			1件・1時間	3,410
	撮像検証システムによるもの			1試料・1測定	1,650
食品の分析，試験等	一般分析	定量分析		1試料・1成分	880
		ガスクロマトグラフによる分析		1試料・1測定	7,160
		生物顕微鏡による分析		1試験・1測定	1,430
		ヘッドスペースGC／MSによる定性分析		1試料・1測定	12,650
	栄養成分分析	アミノ酸分析	指定アミノ酸17種類	1件(10試料)	45,540
			指定アミノ酸35種類	1件(3試料)	50,930
		窒素分析		1試料・1成分	2,640
		脂肪分析		1試料・1成分	4,620
	測定試験	食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,100
		澱ﾃﾞﾝ粉糊ﾌｧﾘﾝ化特性測定試験		1試験・1測定	3,740
		水分活性測定		1試験・1測定	1,540
		ガス透過率測定		1試料・1項目	8,690
		水分量測定（加熱乾燥法によるもの）		1試料	3,630
		水分量測定（赤外線水分計によるもの）		1試料	2,200
		グルコース分析		1試料・1測定	2,530
		デジタル糖度計による比重測定		1試料・1項目	1,210
		振動式密度計による測定		1試料・1項目	1,320
	細菌検査	一般細菌検査(一般生菌数，大腸菌群等)		1試料・1項目	3,200
		特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)		1試料・1項目	6,060
		その他の細菌検査(真菌，酵母等)		1試料・1項目	4,400
	酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)		1試料・1項目	5,490
		酵素力価測定(グルコアミラーゼ)		1試料・1項目	3,960
		酵素力価測定(α―アミラーゼ)		1試料・1項目	3,190
	抗菌試験			1試料・1項目	28,160
	保存試験			30日以内のもの1試料	2,810
	官能検査			1試料	600
	成績書交付			1通	560

備考　職員の派遣を要する試験，分析，検査，調製，加工等に係る手数料の額は，この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間１時間までごとに3,520円を加算した額とする。

2　茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分			単位	金額(単位　円)
試験又は分析	各種繊維の繊度，繊維長，強伸度，水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	各種糸の太さ，より数，強伸度，糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,850
	織物又は編物の目付，強伸度，通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,730
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項)	1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項)	3,860
		複雑なもの	1件(1事項)	5,960
	精練，漂白，染色，糊付ﾉﾘﾂｹ，仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,810以上 9,580以下
	染色堅ろう度試験	熱湯，水，汗，洗濯，摩擦等	1件(1事項)	1,270
		耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,640
			1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え，12時間まで	4,180
			12時間を超え，1件1時間ごとに	340
		耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	4,730
			6時間を超え，1件1時間ごとに	660
	耐候試験		1件(5試料)・8時間	3,080
			8時間を超え，1件1時間ごとに	340
	耐光試験(フェードメーターによるもの)		1件(5試料)・1時間	1,540
			追加5試料ごとに	330
			1時間を超え，1件1時間ごとに	660

恒温恒湿試験			1件・1時間	1,540
			1時間を超え，1件1時間ごとに	330
測色試験			1件	1,540
洗濯試験			1件	2,420
繊維，染料，助剤，薬剤等の分析及び応用試験			1件・1成分	3,080以上 11,000以下
プラスチック材料試験	簡単なもの		1件(1事項)	3,300
	複雑なもの		1件(1事項)	6,600
	メルトインデクサによるもの		1件	2,530
プラスチック試料作成	射出成形機によるもの		1件(5ショットまで)	4,070
			追加同一材料(5ショットまで)	770
	試料切断		1件	1,540
	試料研磨		1件	3,410
	冷間樹脂埋め		1試料	1,650
	その他の試料作成機等によるもの		1件(1事項)	1,430
電子顕微鏡表面観察			1件(1事項)(写真1枚付)	4,510
			追加1箇所につき(写真1枚付)	880
デジタルマイクロスコープ観察			1件(1事項)(写真1枚付)	2,310
			写真追加1枚につき	440
疲労試験	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)		1試料・1時間	6,710
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	880
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)		1試料・1時間	9,240
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,100
強度試験	万能試験機によるもの		1件	2,200
	高速度カメラによる破断観察		1件・1時間	4,070
熱分析			1試料・1時間	4,730
PVT測定			1条件	7,370
摩擦処理試験			1試料(1,000回まで)	990
熱拡散率測定			1測定	7,590
KES風合い試験	引張せん断試験		1件(1事項)	1,870
	曲げ試験		1件(1事項)	1,870
	圧縮試験		1件(1事項)	1,760
	表面試験		1件(1事項)	1,870
	接触冷温感・熱伝導率・保湿性試験		1件(1事項)	1,760
	ねじり試験		1件(1事項)	1,870
	風合い値解析		1件(1事項)	990

恒温恒湿試験			1件・1時間	1,430
			1時間を超え，1件1時間ごとに	220
測色試験			1件	1,540
洗濯試験			1件	2,200
繊維，染料，助剤，薬剤等の分析及び応用試験			1件・1成分	2,910以上 9,870以下
プラスチック材料試験	簡単なもの		1件(1事項)	2,240
	複雑なもの		1件(1事項)	4,380
	メルトインデクサによるもの		1件	2,310
プラスチック試料作成	射出成形機によるもの		1件(5ショットまで)	3,850
			追加同一材料(5ショットまで)	770
	試料切断		1件	1,540
	試料研磨		1件	3,300
	冷間樹脂埋め		1試料	1,540
	その他の試料作成機等によるもの		1件(1事項)	1,020
電子顕微鏡表面観察			1件(1事項)(写真1枚付)	4,510
			追加1箇所につき(写真1枚付)	880
デジタルマイクロスコープ観察			1件(1事項)(写真1枚付)	2,090
			写真追加1枚につき	440
疲労試験	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)		1試料・1時間	6,050
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	770
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)		1試料・1時間	8,140
			1時間を超え，1試料1時間ごとに	880
強度試験	万能試験機によるもの		1件	1,980
	高速度カメラによる破断観察		1件・1時間	3,960
熱分析			1試料・1時間	4,510
PVT測定			1条件	7,260
摩擦処理試験			1試料(1,000回まで)	990
熱拡散率測定			1測定	7,590
KES風合い試験	引張せん断試験		1件(1事項)	1,870
	曲げ試験		1件(1事項)	1,870
	圧縮試験		1件(1事項)	1,760
	表面試験		1件(1事項)	1,870
	接触冷温感・熱伝導率・保湿性試験		1件(1事項)	1,760
	ねじり試験		1件(1事項)	1,870
	風合い値解析		1件(1事項)	990

	成績書交付		1通	660
試作又は加工	織物又は糸の精練，漂白，染色その他の加工		1件(1事項)	990以上 9,570以下
	織物の整理仕上げ		1反又は12メートル	470以上 4,070以下
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで，長さ30センチメートルまで)	7,810
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで，長さ100センチメートルまで)	35,420
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え，100センチメートルにつき)	4,290
	試編み（ホールガーメントコンピューター横編機によるもの）		1件(1事項)(幅90センチメートルまで，長さ50センチメートルまで)	3,410
			1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え，50センチメートルにつき)	1,430
図案の調製	設計図案データの作成		1件・0.5時間	1,870
	二次元形状データの作成		1件・0.5時間	1,870
	設計図案の印刷		1枚(長さ50センチメートル)	340

	成績書交付		1通	560
試作又は加工	織物又は糸の精練，漂白，染色その他の加工		1件(1事項)	950以上 8,890以下
	織物の整理仕上げ		1反又は12メートル	470以上 3,860以下
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで，長さ30センチメートルまで)	6,820
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで，長さ100センチメートルまで)	31,460
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え，100センチメートルにつき)	3,740
	試編み（ホールガーメントコンピューター横編機によるもの）		1件(1事項)(幅90センチメートルまで，長さ50センチメートルまで)	3,410
			1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え，50センチメートルにつき)	1,430
図案の調製	設計図案データの作成		1件・0.5時間	1,660
	二次元形状データの作成		1件・0.5時間	1,660
	設計図案の印刷		1枚(長さ50センチメートル)	340

3　茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分		単位	金額(単位　円)
窯業試験	素^{地}試験	1件	3,960
	熱分析試験	1件	5,170
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	3,740
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	2,200
	エックス線回折試験	1件	6,160
	粒度分布試験	1件	4,290
	吸水試験	1件	1,100
	強度試験	1件	990
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩^{かさ}比重試験	1件	1,650
	耐薬品試験	1件	1,760
	外圧試験	1件	2,090
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	3,630
	成績書交付	1通	660
試作又は加工		1件	660以上 69,270以下

3　茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分		単位	金額(単位　円)
窯業試験	素^{地}試験	1件	2,690
	熱分析試験	1件	4,180
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	2,690
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	1,020
	エックス線回折試験	1件	4,720
	粒度分布試験	1件	3,710
	吸水試験	1件	670
	強度試験	1件	600
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩^{かさ}比重試験	1件	1,120
	耐薬品試験	1件	1,350
	外圧試験	1件	1,470
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	2,420
	成績書交付	1通	560
試作又は加工		1件	470以上 69,270以下

つくば創業プラザの設置及び管理に関する条例（平成15年茨城県条例第32号）新旧対照表

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>別表(第 19 条，第 22 条関係)
<table><tr><th>区分</th><th>利用料金</th></tr><tr><td>事務室</td><td>1 室 1 月につき　105,050 円</td></tr></table></td><td>別表(第 19 条，第 22 条関係)
<table><tr><th>区分</th><th>利用料金</th></tr><tr><td>事務室</td><td>1 室 1 月につき　104,500 円</td></tr></table></td></tr>
</table>

使用料

茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例（平成27年茨城県条例第28号）新旧対照表

R6.4.1施行

新

別表（第１２条関係）

設備の種類	単位	金額(単位　円)
小型電気炉高温酸化焼成	1回	4,070円
小型電気炉高温還元焼成	1回	5,720円
小型電気炉低温焼成	1回	2,420円
電気炉（40キロワット）高温酸化焼成	1回	27,170円
電気炉（40キロワット）高温還元焼成	1回	35,970円
電気炉（40キロワット）低温焼成	1回	15,290円
ポットミル	1日	600円
フレットミル	1日	1,530円
ジョークラッシャー	1時間	1,000円
真空土練機（大型）	1時間	770円
真空土練機（小型）	1時間	230円
精土一式（大型）	1回	6,730円
精土一式（小型）	1回	660円
スタンプミル	1時間	120円
セラローラー	1時間	120円
油圧式圧縮試験機	1時間	120円
曲げ試験機	1時間	230円
自動乳鉢	1時間	120円
サンドブラスト	1時間	990円
混練機	1時間	880円
ラバープレス	1時間	1,000円
簡易分光色差計	1時間	560円
削除	削除	削除
真空攪拌機	1時間	990円
石膏原型ロクロ	1時間	990円
蛍光エックス線分析装置	1時間	1,650円
エックス線回折装置	1時間	2,200円

旧

別表（第１２条関係）

設備の種類	単位	金額(単位　円)
小型電気炉高温酸化焼成	1回	4,070円
小型電気炉高温還元焼成	1回	5,720円
小型電気炉低温焼成	1回	2,420円
電気炉（40キロワット）高温酸化焼成	1回	27,170円
電気炉（40キロワット）高温還元焼成	1回	35,970円
電気炉（40キロワット）低温焼成	1回	15,290円
ポットミル	1日	600円
フレットミル	1日	1,530円
ジョークラッシャー	1時間	1,000円
真空土練機（大型）	1時間	770円
真空土練機（小型）	1時間	230円
精土一式（大型）	1回	6,730円
精土一式（小型）	1回	660円
スタンプミル	1時間	120円
セラローラー	1時間	120円
油圧式圧縮試験機	1時間	120円
曲げ試験機	1時間	230円
自動乳鉢	1時間	120円
サンドブラスト	1時間	990円
混練機	1時間	880円
ラバープレス	1時間	1,000円
簡易分光色差計	1時間	560円
マイクロスコープ	1時間	880円
真空攪拌機	1時間	990円
石膏原型ロクロ	1時間	990円
蛍光エックス線分析装置	1時間	1,650円
エックス線回折装置	1時間	2,200円

使用料

茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例（平成27年茨城県条例第28号）新旧対照表

R6.10.1施行

新

別表（第１２条関係）

設備の種類	単位	金額(単位　円)
小型電気炉高温酸化焼成	1回	4,950円
小型電気炉高温還元焼成	1回	8,360円
小型電気炉低温焼成	1回	2,860円
電気炉（40キロワット）高温酸化焼成	1回	34,870円
電気炉（40キロワット）高温還元焼成	1回	40,370円
電気炉（40キロワット）低温焼成	1回	19,470円
ポットミル	1日	660円
フレットミル	1日	1,760円
ジョークラッシャー	1時間	1,100円
真空土練機（大型）	1時間	1,210円
真空土練機（小型）	1時間	440円
精土一式（大型）	1回	9,240円
精土一式（小型）	1回	1,100円
スタンプミル	1時間	440円
セラローラー	1時間	440円
油圧式圧縮試験機	1時間	1,650円
曲げ試験機	1時間	1,430円
自動乳鉢	1時間	440円
サンドブラスト	1時間	990円
混練機	1時間	880円
ラバープレス	1時間	1,320円
簡易分光色差計	1時間	990円
真空攪拌機	1時間	990円
石膏原型ロクロ	1時間	990円
蛍光エックス線分析装置	1時間	2,090円
エックス線回折装置	1時間	2,640円

旧

別表（第１２条関係）

設備の種類	単位	金額(単位　円)
小型電気炉高温酸化焼成	1回	4,070円
小型電気炉高温還元焼成	1回	5,720円
小型電気炉低温焼成	1回	2,420円
電気炉（40キロワット）高温酸化焼成	1回	27,170円
電気炉（40キロワット）高温還元焼成	1回	35,970円
電気炉（40キロワット）低温焼成	1回	15,290円
ポットミル	1日	600円
フレットミル	1日	1,530円
ジョークラッシャー	1時間	1,000円
真空土練機（大型）	1時間	770円
真空土練機（小型）	1時間	230円
精土一式（大型）	1回	6,730円
精土一式（小型）	1回	660円
スタンプミル	1時間	120円
セラローラー	1時間	120円
油圧式圧縮試験機	1時間	120円
曲げ試験機	1時間	230円
自動乳鉢	1時間	120円
サンドブラスト	1時間	990円
混練機	1時間	880円
ラバープレス	1時間	1,000円
簡易分光色差計	1時間	560円
真空攪拌機	1時間	990円
石膏原型ロクロ	1時間	990円
蛍光エックス線分析装置	1時間	1,650円
エックス線回折装置	1時間	2,200円

茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例（平成27年茨城県条例第28号）新旧対照表（令和７年４月１日施行）

<table>
<tr><th>改正案</th><th>現行</th></tr>
<tr><td>
○茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例
平成27年３月26日
茨城県条例第28号
（授業料等）
第５条　大学校の学科又は研究科に入学を志願する者は入学試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
２　入学試験手数料，入学料及び授業料(以下「授業料等」という。)の額は，次の表のとおりとする。
<table>
<tr><th>授業料等の種類</th><th>金額</th></tr>
<tr><td>入学試験手数料</td><td>16,500円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>84,600円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　246,300円</td></tr>
</table>
(授業料等の納付方法)
第6条　入学試験手数料は，入学願書を提出する時に納付するものとする。
2　入学料は，入学の手続を行う時に納付するものとする。
3　授業料は，次の各号に掲げる期間ごとに年額の2分の1に相当する額を、それぞれ当該各号に定める期日までに納付するものとする。
(1)4月1日から9月30日まで　4月末日
(2)10月1日から翌年3月31日まで　10月末日
(退学等の場合の授業料の額等)
第7条　前条第3項各号に掲げる期間の中途において退学した者に係るその期間に納付する授業料の額は，授業料の年額の12分の1に相当する額(その額に10円未満の端数があるときは，これを切り捨てた額)にその期間の最初の月から退学した日の属する月までの月数を乗じて得た額とし，同項各号に掲げる期間の中途において休学し，又は復学した者に係るその期間に納付する授業料の額及び納付方法については，知事が別に定めるところによる。
</td><td>
○茨城県立笠間陶芸大学校の設置及び管理に関する条例
平成27年３月26日
茨城県条例第28号
（授業料等）
第５条　大学校の学科又は研究科に入学を志願する者は入学試験手数料を，入学しようとする者は入学料を，在学する者は授業料を納付しなければならない。
２　入学試験手数料，入学料及び授業料(以下「授業料等」という。)の額は，次の表のとおりとする。
<table>
<tr><th>授業料等の種類</th><th>金額</th></tr>
<tr><td>入学試験手数料</td><td>16,500円</td></tr>
<tr><td>入学料</td><td>84,600円</td></tr>
<tr><td>授業料</td><td>年額　234,600円</td></tr>
</table>
(授業料等の納付方法)
第6条　入学試験手数料は，入学願書を提出する時に納付するものとする。
2　入学料は，入学の手続を行う時に納付するものとする。
3　授業料は，次の各号に掲げる期間ごとに年額の2分の1に相当する額を、それぞれ当該各号に定める期日までに納付するものとする。
(1)4月1日から9月30日まで　4月末日
(2)10月1日から翌年3月31日まで　10月末日
(退学等の場合の授業料の額等)
第7条　前条第3項各号に掲げる期間の中途において退学した者に係るその期間に納付する授業料の額は，授業料の年額の12分の1に相当する額にその期間の最初の月から退学した日の属する月までの月数を乗じて得た額とし，同項各号に掲げる期間の中途において休学し，又は復学した者に係るその期間に納付する授業料の額及び納付方法については，知事が別に定めるところによる。
</td></tr>
</table>

いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例（平成20年茨城県条例第34号）新旧対照表

改正案

○いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例

別表第１　１号棟（いばらき量子ビーム研究センター）の使用料（第９条関係）

１　施設の使用料

(1)　研究支援施設の使用料

区分	使用料
研究室	1平方メートル当たり1月につき　1,060円
実験室	
研究交流支援室	

備考　利用を開始する日又は利用を終了する日が月の途中である場合の使用料は，日割りで計算するものとし，その額に100円未満の端数があるときは，その端数を切り捨てるものとする。

(2)　（略）

別表第２　２号棟（いばらき中性子医療研究センター）の使用料（第９条関係）

研究支援施設の使用料

区分		使用料
地上1階から地上3階まで	研究室	1平方メートル当たり1月につき　1,580円
	実験室	
	研究交流支援室	
地下1階及び地下2階	研究室	1平方メートル当たり1月につき　2,360円
	実験室	
	研究交流支援室	

備考　利用を開始する日又は利用を終了する日が月の途中である場合の使用料は，日割りで計算するものとし，その額に100円未満の端数があるときは，その端数を切り捨てるものとする。

現行

○いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例

別表第１　１号棟（いばらき量子ビーム研究センター）の使用料（第９条関係）

１　施設の使用料

(1)　研究支援施設の使用料

区分	使用料
研究室	1平方メートル当たり1月につき　1,050円
実験室	
研究交流支援室	

備考　利用を開始する日又は利用を終了する日が月の途中である場合の使用料は，日割りで計算するものとし，その額に100円未満の端数があるときは，その端数を切り捨てるものとする。

(2)　（略）

別表第２　２号棟（いばらき中性子医療研究センター）の使用料（第９条関係）

研究支援施設の使用料

区分		使用料
地上1階から地上3階まで	研究室	1平方メートル当たり1月につき　1,570円
	実験室	
	研究交流支援室	
地下1階及び地下2階	研究室	1平方メートル当たり1月につき　2,350円
	実験室	
	研究交流支援室	

備考　利用を開始する日又は利用を終了する日が月の途中である場合の使用料は，日割りで計算するものとし，その額に100円未満の端数があるときは，その端数を切り捨てるものとする。

産業戦略部資料３

令和６年第１回定例会
防災環境産業委員会資料

令和５年度県出資法人等経営評価結果について

１　茨城県信用保証協会 …… ２
２　(公財) いばらき中小企業グローバル推進機構 …… ３
３　(株)ひたちなかテクノセンター …… ４
４　(株)つくば研究支援センター …… ５
５　(公財)茨城カウンセリングセンター …… ６
６　(一財)茨城県科学技術振興財団 …… ７

令和６年３月１５日

産　業　戦　略　部

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

番号	法人名 ＜評価区分＞ 所管課	決算状況等				総合的所見等 ※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
1	**茨城県信用保証協会** **＜概ね良好＞** 産業政策課	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	令和４年度における保証承諾は、個人消費が徐々に持ち直すとともに設備投資も増加したことにより、１５，６５０件（前期比４．６パーセント増）、１，７４２億円（前期比１９．４パーセント増）と増加したが、コロナ禍で行われた融資制度の返済により、期末における保証債務残高は６，９６７億円（前期比７．３パーセント減）と減少した。 保証業務については、地域の中小企業の発展を支える保証制度として、企業の実情に応じた適正な保証の推進に努められたい。 県内中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に持ち直しつつあるものの、原材料費の高騰等により、依然として厳しい状況が続いていることから、代位弁済額は８２億円（前期比８４．６パーセント増）と増加しており、引き続き、県や他の中小企業支援機関と連携しながら、代位弁済の未然防止や縮減、求償権の回収強化に努められたい。	保証業務については、中小企業のライフサイクルに応じた資金繰り支援が適正に実施されるよう指導していく。 代位弁済の未然防止や縮減については、原材料費高騰の影響等により返済緩和等の条件変更を繰り返す中小企業者に対し専門家を派遣するなど、中小企業支援機関と連携しながら、経営改善支援・再生支援の取組を強化するよう指導していく。 求償権の回収強化については、金融機関実務経験者を活用するとともに、法的措置を含めた回収の強化に取り組むよう指導していく。
			38,614,140千円	3,809,437千円	9.9%		
		決算	前期正味 財産増減額	当期正味 財産増減額	正味財産 期末残高		
			3,317,190千円	2,698,906千円	57,920,851千円		
		資産	資産	負債	正味財産		
			794,353,927千円	736,433,076千円	57,920,851千円		

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

<table>
<tr><th rowspan="3">番号</th><th>法　人　名</th><th colspan="5" rowspan="3">決　算　状　況　等</th><th rowspan="3">総合的所見等
※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見</th><th rowspan="3">左に係る対応</th></tr>
<tr><th>＜評価区分＞</th></tr>
<tr><th>所　管　課</th></tr>
<tr><td rowspan="5">2</td><td rowspan="3">（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構</td><td rowspan="2">出資</td><td>基本財産</td><td>県出資額</td><td>県出資比率</td><td rowspan="5">令和４年度は、自己収益率が３７．１パーセント（前期比１．７パーセント増）と、令和３年度に引き続き改善されたものの、管理費の増加等により、当期経常増減額は令和３年度の５，４０６千円から４，７９７千円減少し、６０９千円となった。引き続き、人件費比率、管理費比率等の抑制に努められたい。
コロナ禍から事業活動は回復しつつあるものの、国のコロナ対策としての融資制度における返済や、原材料費の高騰等により、県内中小企業の経営状況は依然として厳しい状況が続いている。当法人が県内中小企業の発展に果たす役割は大きいことから、関係機関と連携しながら、中小企業の海外展開等を支援し、県の産業振興に寄与されたい。</td><td rowspan="5">財政基盤の安定化については、国や県からの受託事業を積極的に獲得するよう、引き続き指導していく。
人口減少に伴い国内市場が縮小していく中、原油・物価高による生産コストの上昇、人手不足等、県内中小企業を取り巻く環境はますます厳しさを増しており、成長を続ける海外市場に目を向け、新たな需要を取り込むことが必要である。
機構には、全国トップクラスの相談対応や専門家派遣等の実績を生かし、海外展開に取り組めずにいる県内中小企業が一歩踏み出す取組を後押しすることを期待するとともに、中小企業の海外展開を担う中核的な支援機関として、各支援機関と連携して効果的な支援を実施するよう指導していく。</td></tr>
<tr><td>38,000千円</td><td>38,000千円</td><td>100.0%</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算</td><td>前期正味
財産増減額</td><td>当期正味
財産増減額</td><td>正味財産
期末残高</td></tr>
<tr><td>5,371千円</td><td>5,697千円</td><td>1,643,662千円</td></tr>
<tr><td>＜概ね良好＞</td><td rowspan="2">資産</td><td>資産</td><td>負債</td><td>正味財産</td></tr>
<tr><td>産業政策課</td><td>8,036,059千円</td><td>6,392,397千円</td><td>1,643,662千円</td></tr>
</table>

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

番号	法人名 ＜評価区分＞ 所管課					決算状況等	総合的所見等 ※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
3	(株)ひたちなかテクノセンター ＜概ね良好＞ 産業政策課	出資	資本金	県出資額	県出資比率		令和４年度は、新規入居企業の確保や入居企業の増床による入居率の改善（入居率８７．４パーセント（前期比５．８パーセント増））等により、経常利益は４１，６３７千円（前期差３１０千円減）で３期連続と黒字を計上し、当期純利益も４０，４８６千円（前期差１，２３２千円増）となった。 一方、設備の老朽化に対する準備など、将来に向けた課題があることから、今後も新たなニーズの掘り起こしやテナントサービスの向上に取り組み、入居者の獲得や退去防止に努め、経営目標値を更に高めるなど、当期純利益の増を図られたい。引き続き、役員人件費や販売管理費の抑制など、効率的な組織運営を図り、財務体質の健全化に努められたい。 地域産業の活性化を担う企業支援事業については、令和４年度は、新たに８事業を開始するなど、意欲的に取り組み、売上高が増加したが、新規事業に係る費用も増加した結果、経常利益は３，１５８千円（前期差５，６２７千円減）と減少した。引き続き、他の中小企業支援機関と連携しながら、中小企業のニーズを的確に捉えた企業支援に努められたい。	令和４年度は、３期連続で経常利益の黒字を計上したところだが、引き続き、第６次中期経営計画及びそのアクションプランを着実に実行し、収益の確保及び経費削減に努め、黒字化の継続と当期純利益の増加が図れるよう指導していく。 ビジネスオフィス等賃貸事業については、入居ニーズの把握・掘り起こしや営業活動の強化、快適なビジネス環境を提供するためのオフィス整備の推進に取り組み、更なる入居者の確保及び退去防止が図れるよう指導していく。 企業支援事業については、各事業の採算管理を徹底するとともに、人材育成や確保、販路拡大、ＤＸ推進など企業が抱える課題の解決に向けた支援を一層進めるほか、県内中小企業支援機関とのネットワークを活用し、支援体制を強化しながら、県全体の産業活性化に貢献するよう指導していく。
			100,000千円	41,202千円	41.2%			
		決算	前期損益	当期損益	利益剰余金			
			39,253千円	40,486千円	79,740千円			
		資産	資産	負債	純資産			
			1,210,312千円	136,392千円	1,073,920千円			

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

<table>
<tr><th rowspan="3">番号</th><th>法　人　名</th><th colspan="5" rowspan="3">決　算　状　況　等</th><th rowspan="3">総合的所見等
※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見</th><th rowspan="3">左に係る対応</th></tr>
<tr><th>＜評価区分＞</th></tr>
<tr><th>所　管　課</th></tr>
<tr><td rowspan="5">4</td><td rowspan="2">(株)つくば研究
支援センター</td><td rowspan="2">出資</td><td>資本金</td><td>県出資額</td><td>県出資比率</td><td rowspan="5">令和４年度は、入居率が引き続き好調に推移したことにより、売上高は４４２百万円(前期比１．１パーセント増）、当期純利益は５４百万円(前期比７．３パーセント増)となった。
施設提供事業については、レンタルラボを中心に入居需要が高まっており、年度平均入居率は面積ベースで９９．４パーセントとほぼ満室状態である。引き続き施設設備の計画的な修繕や維持管理を行い、高い入居率の維持に努めるとともに、利用者のニーズに対応した良質なオフィス環境の提供に取り組まれたい。
ベンチャー支援事業については、国、県、市町村、研究機関等とのネットワークをさらに強化することにより、近隣競合施設との差別化を図り、つくば発ベンチャー企業の創出・育成をより一層推進されたい。</td><td rowspan="5">物価高騰の影響等により、県内企業を取り巻く経済環境は大変厳しい状況となっているが、引き続き高い入居率が維持できるよう、新たな入居企業の発掘・確保を積極的に進めるとともに、計画的な修繕・維持管理により、入居企業に対し良好なオフィス環境を提供できるよう指導していく。
また、ベンチャー企業が経済成長のエンジンとして期待される中で、支援機能の更なる強化により、つくば発ベンチャー企業の創出・育成を推進するとともに、大学や研究機関、県内産業支援機関、国内外の専門支援機関等との一層の連携強化について指導していく。</td></tr>
<tr><td>2,800,000千円</td><td>513,350千円</td><td>18.3%</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算</td><td>前期損益</td><td>当期損益</td><td>利益剰余金</td></tr>
<tr><td>50,626千円</td><td>54,314千円</td><td>535,022千円</td></tr>
<tr><td>＜概ね良好＞</td><td rowspan="2">資産</td><td>資産</td><td>負債</td><td>純資産</td></tr>
<tr><td>技術革新課</td><td>3,507,899千円</td><td>172,877千円</td><td>3,335,022千円</td></tr>
</table>

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

番号	法人名 ＜評価区分＞ 所管課	決算状況等				総合的所見等 ※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
5	(公財)茨城カウンセリングセンター	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	令和４年度は、コロナ禍で一部中止していた出張面接やオンライン面接が大幅に増加し、総面接件数は過去最高の２，６２４件（前期差１０９件増）となったことなどにより、経常収益は３９，０８０千円(前期差７８３千円増)、当期経常増減額は１，３６４千円(前期差２，１７７千円増)となった。 メンタルヘルス対策はより必要性が増していることから、引き続き、潜在的なニーズの発掘や普及啓発に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会的不安を背景としたカウンセリングニーズにも積極的に対応し、勤労者の働きやすい職場環境づくりからメンタルヘルスまで幅広いサポートに取り組まれたい。 また、あらゆる機会を活用して法人契約先やサポーター(個人寄付者)の増加に努めるとともに、講師派遣やカウンセリング講座の利用促進を図り、収益の確保や事業の拡充に努められたい。	実施事業の周知広報に努めるとともに、カウンセリング講座・セミナーにおけるニーズに応じたテーマ内容の見直しや、講師派遣業務における派遣企業等の新規開拓や、カウンセリング講座・セミナーにおけるニーズに応じたテーマ内容の見直しなどにより、利用者の拡大につなげられるよう指導していく。 また、近年メンタルヘルス対策への社会的要請が高まっていることから、引き続き、企業の労務・人事担当者等に対しても、より積極的な情報提供等を行っていくことにより、勤労者の働きやすい職場環境づくりも含めた幅広いサポートに取り組むよう指導していく。 また、会員等への積極的な情報提供等を通じ、法人契約やサポーターの新規開拓による収益確保を図るとともに、オンライン研修や講座のネット配信などのデジタル技術を活用し、引き続き事業の拡充に努めていくよう指導していく。
			88,395千円	10,000千円	11.3%		
		決算	前期正味財産増減額	当期正味財産増減額	正味財産期末残高		
			△1,230千円	947千円	99,735千円		
	＜概ね良好＞	資産	資産	負債	正味財産		
	労働政策課		104,415千円	4,680千円	99,735千円		

（産業戦略部）　　令和5年度県出資法人等経営評価結果　　（令和4年度決算ベース）

番号	法人名 ＜評価区分＞ 所管課	決算状況等				総合的所見等 ※（ ）書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
6	**(一財)茨城県科学技術振興財団**	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	令和４年度は、指定管理施設のつくば国際会議場においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも一定程度の催事が実施されたことから、催事件数や来場者数が回復し、併せて管理費の削減に努めたことにより、当期経常増減額は４，００２千円(前期差５，３４９千円増)となった。 一方、電気料金の上昇等により管理費が増加していることから、引き続き、経費削減をはじめとする効率的な管理運営に努められたい。 また、施設利用率が経営目標に達していないことから、つくば国際会議場の指定管理者の代表団体として、利用者に選ばれる施設となるよう、そのニーズを分析し、ターゲットを絞った営業展開や近隣施設と連携した誘致など、利用収入の増加に向けた取組に努められたい。 引き続き、研究開発奨励事業等の公益目的支出計画を着実に実施し、社会環境の変化にも対応した魅力的な事業展開等を通じて、科学技術の振興に寄与されたい。	つくば国際会議場については、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いたものの、オンライン併用によるハイブリット会議や各種資格試験など、新たなニーズを捉えるための設備強化や営業活動を展開した結果、令和４年度は利用収入及び利用者数がコロナ禍前の約８割まで回復している。 一方で、エネルギー価格高騰に伴う光熱水費の更なる負担増が懸念されるため、引き続き経費削減に取り組んでいくほか、国際会議や大規模催事の誘致、有料広告による広告収入の確保など利用収入の増加に向けた取組に努めるよう指導していく。 また、研究開発奨励事業等の公益目的支出計画を着実に実施していくとともに、研究機関等との連携をより強化し、魅力あるイベントを開催するなどして、科学技術への理解促進と普及啓発を図り、本県の科学技術の振興に寄与できるよう指導していく。
			35,400千円	34,700千円	98.0%		
		決算	前期正味 財産増減額	当期正味 財産増減額	正味財産 期末残高		
			△1,034千円	4,238千円	418,405千円		
	＜概ね良好＞	資産	資産	負債	正味財産		
	科学技術振興課		478,450千円	60,045千円	418,405千円		

産業戦略部　資料４

令和６年第１回定例会

防災環境産業委員会資料

令和５年度 決算特別委員会
事務事業の見直し、改善の申し入れへの対応状況一覧

令和６年３月１５日

産業戦略部

令和５年度 決算特別委員会 事務事業の見直し、改善の申し入れへの対応状況一覧

【部局名：産業戦略部】

No.	申し入れの項目 （担当課）	申し入れの内容	Ｒ６当初予算への反映状況	その他対応状況
1	県畜産試験場跡地の有効活用について （技術革新課） ※総務部、政策企画部、立地推進部でも対応	県畜産試験場跡地については、単純な売却を避け、地元の県立ＩＴ未来高校の開校を踏まえて、ＩＴ関係の企業の本社機能誘致や、インキュベーション施設の整備など、本県ＩＴ関係の拠点として整備する構想を構築して、有効活用を図るべきである。 また、同跡地の一部は、友部リトルシニアの球場として手作りで整備し、関東地区のリトルシニアのメッカとして多くのチームが訪れて交流試合が行われている。恒久的に使用できるように検討されたい。	－	畜産試験場跡地の有効活用については、担当部や関係部の取組について、産業振興の観点で協力・連携していく。 （参考：管財課） 旧畜産試験場跡地の一部については、友部リトルリーグ及び友部リトルシニアの活動を目的とした笠間市教育委員会からの申請に基づき、貸し付けを行っているところ。 当該用地に係る今後の方針について、関係部局とともに検討していく。 （参考：地域振興課） 畜産試験場跡地の有効活用については、担当部や関係部の取組について、地域振興の観点で協力・連携していく。 （参考：立地整備課） 成長分野における本社機能の移転をはじめ、優良企業の誘致など、地域経済の活性化や質の高い雇用につながるよう、利活用の取組を進めていく。